（第一種）（京橋郵便局認可）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）

臺灣日日新報 夕刊

昭和十一年二月六日　臺灣日日新報　（木曜日）　第一萬二千二百八十八號

二月五日　夕刊定價一部二錢

臺北市榮町一丁目四番地　臺灣日日新報社
臺北市榮町一丁目四番地（ビルディング内）
東京支局　東京市京橋區銀座一丁目
大阪支局　大阪市西區江戸堀通貳丁目
花蓮港支局　花蓮港街入船町
臺南支局　臺南市末廣町貳丁目
高雄支局　高雄市新濱町
臺中支局　臺中市榮町貳丁目
基隆支局　基隆市仁愛町貳丁目
（電話）（臺北）（七）（二）（番）

東亞主義に基く
外交陣の緊密強化
歸朝中の大公使、外務首腦部
政策再檢討の會合

【東京五日發】軍縮會議決裂後の國際關係は政治的、經濟的に多少の惡化を免れざるため東亞主義を根據とするわが外交方針の遂行に基き內外交陣の緊密なる連絡を必要とするに至つたので陸海中の各大使の歸任を前に四日午後一時より次官官邸においてわが外交政策再檢討の重要協議會を開き

松平駐英、武者小路駐獨、有田駐支の各大使及び巡回使として南北米國駐在に出張する松永駐佛公使

本省側より重光次官、東郷歐亞、寺崎亞洲、來栖通商、栗山條約

天羽情報、各部長等出席

先づ本省各局部長より夫々主管事項に關する最近の外交經過及び方

針の內容は

一、世界の大勢

二、帝國內外の情勢

三、非常時の克服

四、選擧に對する覺悟

の四項目で選擧に對する覺悟については天皇陛下の御政治に翼贊し得る半藏主忠の人物を選出すること

の吉出しを以て選擧人も被選擧人も共に國家本位で擧國一致國運進展に當らんことを強調し國民に於ける國防の觀點より醇朴にして總選擧に無關心たり得ずとの重大警告を闡明した

今までの所 違反は少い

【東京五日發】總選擧も後半戰に入り政戰「酣」となつてゐるが選擧違反件數は四日午後內務省警保局に達した報告によれば三十二件百四人に過ぎず之は選擧粛正の趣旨と嚴重なる取締方針が候補者側に徹底せる爲と見られるも期日切迫に伴ひ違反を敢行するもの續出するものとして當局は益々嚴戰態勢を固めてゐる

遡及、定期敍勳
千六百六十餘名發表

【東京四日發】曇り勝ちでは四日文武官三百十名に對し定期、三百五十三名に對し遡及として夫々

敍勳の御沙汰あり內閣賞勳局より敍勳された者及び敍勳の分主なるもの左の如くである

勲一等旭日大綬章　黒田清隆（故）
同　同　岡田忠彦
同　同　小川郷太郎
大阪府知事　塚原俊郎
逓信次官　勝正憲
元關東局總長　長岡隆一郎
侍從伯爵　廣幡忠隆
皇后宮大夫侯爵　廣幡忠隆
大藏次官　津島壽一
勲二等瑞寶章（各通）
同定期敍勳の主なるもの左の如し
絹絲檢査所技師　從三位勲二等　芳賀榮四郎
行政裁判所評定官

總選擧後に內閣改造
「擧國一致」のやり直し
政黨、貴院、官僚間に再燃

【東京五日發】總選擧も二週間後に迫り各國に亘る政戰は漸く白熱化し來つたが、政友、民政兩黨は神中に總選擧後を目指して政民提携を復活し進んで政黨內閣を實現すべしとの希望を實現に導くに至つた事に直接當局の關與に重大關心を持つものとして既に重視されて來た、殊に民政黨內に於いて從來この主張を固持し來つた川崎新文相は現內閣擴大の使命からしても選擧後の新事態に即し擧國一致の新內閣に基き擧國一致の再建設をなすべしとの意向を漏らしてゐるものの如くこれには民政黨內にも賛世木桂吉、富田幸次郎、俵孫一氏等を初め擧國一致內閣に參加者多く一方政友會內にも總裁更迭久原派排撃運動を起つて「總選擧後岡田首相が眞に總辭を提出せば擧國一致支持に進むべし」とするもの多いので總選擧後に於ける內閣改造問題は重大なる關面

に進展することとならう、然に注目すべきは貴族院、官僚方面に於ける微妙な相互支持者中內相の使命は粛正選擧の遂行にあり選擧後政策の樹立に見るべきものあり政策中心に依る擧國一致內閣再建設運動起る如き場

合は深く政黨に極力に極手を觀り自ら內閣改造に寄與することがその使命を完了するものである

として內相の決意を慫慂して居り全國の政戰漸く「酣」ならんとするとともに中央政界にも各種の運動が朕孛を示すものと見られる

總選擧と陸軍
無關心たり得ぬ
パンフレット發行

選擧粛正として居り既に十六年委員會議員總會合會議選擧長が中立を嚴守して同市を始め各地に出馬を希望され伊井知事選長民明倍會）が當選した

第二區（兒島郡、姶良郡、淺口郡、小田郡、笹目郡、吉備郡、上房郡、川上郡、阿哲郡）定員五名）

政友會は前代議士原島一郎、小谷武夫、現井宮秀雄三氏の外木曾檢の御曹子倉氏が父會の遺跡を繼いで出馬するから知れず民政黨は

無敵の聯合艦隊
今夏臺灣へ來航
基隆、高雄、馬公で
堂々威風を示さん

世界無敵の我が聯合艦隊は高橋司令長官統率の下に七月上旬から八月下旬の間に臺灣方面に巡航の途、馬公をはじめ基隆、高雄に入港する筈であるが、海軍は特別大演習は十一年度に繰延するので演習艦隊六艦隊は既に内地に集結に計畫されてるが、この大演習は最近大元帥陛下の御親閲遊ばさるる大規模のもので本島各港もこの演習に關係するかは詳でないが、軍艦行動も頗る大規模であり、ワシントン、ロンドン兩條約の本年を以て滿了し、わが海軍將士の意氣込み愈よ旺盛の時とて無敵艦隊の威容を臺灣に迎へることは非常に頼もしい限りである　次聞するところによると馬公は警備艦たる第一第二艦隊共に相前後して入港するが、基隆には第一艦隊、高雄には第二艦隊のみが入港する豫定である

帝都は死然雪地獄
けふ小學校は全半休
動くものは地下鐵ばかり

【東京五日發】四日帝都に降つた積雪は遂に一尺を越え、明治十六年以來實に五十四年振りの大吹雪となり、帝都は殆ど全機能を喪失した　この日正午頃から降出した雪は十五メートルの北風に吹き捲くられ夜に入つては一寸先も見えず、帝都は全く荒れ狂う自然の威力の前に全く無力を暴露した　省線（郊外、市電、バス等交通機關は殆ど運轉不能、國鐵、運轉不能、運轉不能、運轉不能

紙衣祖師（26）

吉川英治作　山村耕花畫

法敵篇

聲を焼く（四）

にかかはること。人まかせには致し難い。――殺しるな」

暫みじめてゆく聖者は荒くないが、胸には悲哀と、つよい性格が見えるのである。止めて止まる人でないこと、覚明は知つてゐるので、そのまゝ、不安さうな眼を光らして後より走りこんでゐた。

――すでにこの時は、覚悟に出てゐる法然房持であましてゐた時だつた。五、六名の荒法師は、師の聖坊をあひだにかこんだので、大刀刀を抜いたのがうしろから敵鳴るけれども足らないで、性急屋の覚明がひとつかみ、一人は今にも、扉の板の間へ土足を踏みかけて中へ闖らうとしてゐた所。

「おゝ。これは」

と、聖者はらつた主人の姿をその瞬間に見たので。

「やつ、出てうせたか」

法師たちは、一瞬身を退き、その殺気を好き眼ざしを一瞥に彼へ「止められい」

と、厳誡であり、駆くまで物静かである。

さういふ作法や手重は、暴発たちに扭つて苦手である。おいまはら聖の中から、剛胆のやうな眼をひからせてゐる大法師が、剣を振つて、斬倒の容赦を打ち破いた。

「馬鹿つ、ふざけるなつ。左様な覚長な話して来た者々ではない。愚には、山門の盛面にかかはるほど重大なのだ。おぬしの首をもらふかも分らない。ここで、聖坊を申し聞かすから答弁してみい」

臺日歌壇

安成二郎選

臺北　佐々木はる

青白き月光浴みて秋深き夜ふけの庭に獣しるにけり

我がくらし貧しけれども湯ち足りし安き心に眠らんとする

新竹　開野　惠雄

今日もまた臨機振りて働ける昔は嬉しも病むこともなく

臺北　濱田　孤園

佛弟子と言ふは誰がことぞ朝に夜に慎悔とある言にてあるも

山茶花は淋しかりけり小夜更の月に照らひてただに真白し

新化　林　一夢

開きたる窓よりかろく吹き通す青田の風は芋の匂ひすかにかくに山は淋しも日の暮れの芋をなびかし風吹き立てば

斗六街　顧　夢德

窓そめて夕日は海に落ちゆきぬ働らきしあとの飯うまく食ふ

北門郡　中尾　千鶴

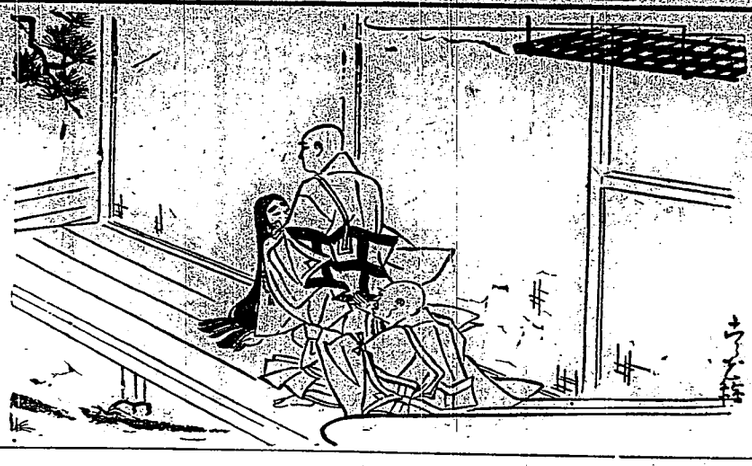
吾子のする白き御飯ににじみたる薬の匂ひ悲しかりけり

臺北　陳　常俊

手足をば海老の如くに曲げて寝る姿ぎびしき夜となりにけり

ミモザ館

名匠ジャック・フェデの傑作第二回作品で、仏トーキー協つて以来の傑作と云ふ折紙をつけられてゐる、カジノのある南フランスのある町を背景に、世間の心理を明に描き、殆ど日常茶飯的な動きに秘くべき感銘と戦慄を盛り上げてゐる、主役はジャック・フェデ夫人で、「外人部隊」に妙技を示したフランソワーズ・ロゼエである



文化映畫の強制上映問題

―伊太利獨逸の實績に見て―

（下）

文部省社會教育局長　山川　健

一つ文化映畫の面白いのがあるから見に行かう」てな事になるといふ時代が来ると思ふ

文化映畫は教育的のものであるから長い時間を要してはならないせいぜい七十米（時間にして五分至七分位）さうしてむづかしいものを極く易しく表現する事だ。それには文部省は所管の大學や研究所や天文臺や氣象臺、農試、其他適當の學術機關があるからそれ等の學者の援助によつて必ず理想的なものが作り出されるさうなれば、映畫も人間生活上にどれ程役立つか分らない

文部省は國民を指導するために第一が學術映畫のいい映畫を作るのに力を注ぎたい又それが文教の開ける第一の使命であると考へる

又文化映畫の種のない時にはニュース映畫をやる事もよいと思ふ、それにはスポーツ其他色々あるがそれを高速度なり緩寫なりにして目先を變へたものにするやうな工夫もしたいそれからもう一つの仕事は民間に於ける映畫のよいものをフイルムの價を額めて奨勵する事がある。その標準は教育價値あれば出來ると思ふ、民間作製のいい映畫と云へば外國のものにもあるが日本では思ひ切つた大膽な方法で外國のものを買ひ入れて日本の觀客に見せるやうなものである

價を額めて奨勵する必要は、現在の營業映畫製作者の三二・三%であるが、諸學校の備へ付けのない多くは十六ミリの映寫機であるから學校や教育の諮詢で用ゐるには、どうしてもそれに合ふやうにフイルムを作り直さなければならない。これは是非とも實現させたいものである

（寫眞は文部省の映畫）

東西合併歌舞伎

源之丞を加へて

五日より菊座にて上演

東西合併大歌舞伎中村鶴藏、澤尾菊之丞、嵐璃玉衛門それに日本一早變りの名人本家荒木源之丞を加へた一座は一月十一日來演全國各地を巡演中であつたが一月五日から十日間菊座に於て開演する事になつた

目下猛烈北風行の候は孤の寒さが軍歌の夢の柔軟不可能となり從つて美技を公開出來なかつたが去る二十二日晝上を見十時と共に來演、其の

臺中市櫻町有明町 同時刻突告火警

消防組警官分兩班撲滅

臺中市內。去四日夜中。突然發生火警兩處。因同時刻。故州警務部臺中署員。消防組員等。各分作一班。極力消火。幸不至釀成大火。即樓町二丁目十五番地。坂本芷平之家同夜九時頃。突然火發。經當局撲滅。僅燒失坂本家及隣家一棟。又同時刻有明町二丁目二十四番地專賣局宿舍下條章助氏之家發火。延燒于堀口。門司兩家。至十時五十分鎮火。原因損失。各調查中云。

新竹市當局 建國祭典

擬盛大舉行

新竹市。訂來十一日建國祭日。午前十時。于小學校各庭。市設國旗揭揚臺下。集市內各官公衙。中等學校。小公學校。在鄉警察官。青年軍人。在鄉警察團。青年訓練所。消防組壯丁團。青少年團。愛國婦人會。州下市街庄協議會員。各町會。銀行。會社。外各團體。一般市民等。嚴肅舉建國祭。正午在公會堂開官民合同祝賀會。晚七時在公會堂前廣場。開映寫會。及開催演劇。音樂演奏。諸演等計畫。學校山郡守。及海山支山兩廳方面。開兒童作品展覽會。

協和會館 五委員訪督府 陳情開放

既報臺北市新公園內。建築之舊博物館。充作協和會館。前番市議月例會席上。提議其開放。一同乃退出云。

臺北州士農談會詳報 地主農就協議事項熱心討論

既報臺北州第四回地主農談會。四日正午。一同會集于板橋街林本源庭園。午後一時開會。首由主催者戶水州內務部長敘禮。次大田海山郡守敘禮。由是犬飼州技師。就最近內地之小作爭議。開特別講演。至同三時半終了。次暫時休憩中。一同撮影記念。同日時起。乃入懇談會。先由林州技手。說明臺北州農業施設概況。及最近小作爭情之趨勢。次就州提出協議事項五件。熱心交換意見。而各項由州提示原案。以資參考。議至同六時閉會。一同歸宿臺北。是日出席者。州下水內務部長。犬飼技師竹諸係員。郡則大田海山郡守。及海山支山兩廳務課長。郡街庄關係者等。正之衝。須行拆毀。是以市

臺南市清水城隍廟 信徒代表赴州陳情 請認定爲古跡保存

臺南市清水町府城隍廟。談廟荒事。及市民有志。建自明永曆二十三年。爲鄭氏之一世所立。係臺南三大廟子之一。閱歲既久。殊爲可惜。者番乃由各信徒總代連署。稟莫欣。吳森玉兩氏爲代表。以五日朝赴州署。訪問林田內務部長。提出嘆願書。請認定該廟爲古跡保存。而變更市

花蓮港農產 開品評會

花蓮港廳下各種農產品。年々生產額增加。品質向上。剋期的進步。比西南部地方。多無遜色。然要改善刷新之處尙多。欲期進發。且紹介廳下物產。藤村廳長。決定今秋十一月。由廳農會主催。開農產品大品評會。經費計上五千圓。附議於本月中旬之通常總會。得其承認。作製具體案。出品於品評會之品種。乃廳下生產一切農產品。其出品點數不少云。

竹州紅茶組 第四回代議員 選舉結果

新竹州紅茶組合當局。鑒及紅茶製造改良。及販路擴張。第四回選舉。去三日午前九時。開于廳內。出席三十二名。亦多少讓步。双方數次交涉。至最近同滿解決。即從來福仁九。有比福仁九較多。今回設一制度。以四隻統一之。使彼等實收入。得增加若干云。

臺北州檢舉犯科者 智能犯逐年增加

橫領案比九年度倍增

臺北州下。昭和十年度。犯罪統計已完成。關此據山下刑事課長所談。在昭和九年度。州下犯罪總數占全國府縣別第十六位。而十年度。比九年度總數增加四千三百八。其順位亦應增進。犯罪數逐年增加之傾向。果屬如何雖不明。而昨年度。最可注目之顯著特徵。爲詐欺橫領等智能犯之增加。即詐欺者九年。增加五百九十七金額增十四萬數千圓。橫領二千七百二十八。增加倍額以上。而金額比九年度之三十一萬三千六百十六圓六十六錢。增加八十七萬七千六百四圓六十八錢。即約三倍。其原因雖繁悖。此固全國的傾向。蓋犯人之心理。以犯罪暴露得以補塡。及對此刑罰較輕。有以使然者。又主家與僱人間之精神的關係。輕于往昔。亦一原因。恐喝比九年度。增加約倍者。乃因昨年九月。檢舉街紳士。竊盜亦激增。爲昨年博奕者。因本島人僥倖心。依然存在。要之犯罪逐年增加。殊如因習能的犯罪之可察而知。六、我方不乘此策誤。亦不屈此暴虐威嚇。特此聲明。

基勸業協會 爲商工業者 開始斡旋事務

基隆市勸業協會。依創設之趣旨。將爲市內商工業者。辦理商工相談事務。經營互相救濟。比諸一般組合。利息特輕。凡貸付金。在限期內清還。及輕利息數厘。組合員。一經加入。而稍利用。無不簡。其堅實者番特選代議員。爲之代議。第四回選舉。去三日午前九時。開于廳內。出席三十二名。亦多少讓步。双方數次交涉。至最近同滿解決。即從來福仁九。有比福仁九較多。今回設一制度。以四隻統一之。使彼等實收入。得增加若干云。

臺北廳士農談會詳報 地主農就協議事項熱心討論

既報臺北州第四回地主農談會。四日正午。一同會集于板橋街林本源庭園。午後一時開會。首由主催者戶水州內務部長敘禮。次大田海山郡守敘禮。由是犬飼州技師。就最近內地之小作爭議。開特別講演。至同三時半終了。次暫時休憩中。一同撮影記念。同日時起。乃入懇談會。先由林州技手。說明臺北州農業施設概況。及最近小作爭情之趨勢。次就州提出協議事項五件。熱心交換意見。而各項由州提示原案。以資參考。議至同六時閉會。一同歸宿臺北。是日出席者。州下水內務部長。犬飼技師竹諸係員。郡則大田海山郡守。及海山支山兩廳務課長。郡街庄關係者等。

我外交政策再檢討 歸朝使臣本省要人協議 對華仍爲中心

東京五日電。軍縮會議決。要美米爲中心之親善關係。此亦協議。又此會議。猶擬二、二回召開。十分檢討。遂行新方針。期無浪費云。

外陸海聯合 議俄滿國境 其他問題

東京五日電。滿俄國境問題。目的形勢。相當可注目。外務省。訂來六日午後零時半。在省內。開外務。陸軍。海軍三省聯合協議會。各關係官出席。當由東鄉歐亞局長。報告以近國境紛爭問題實情如左。

一、紛爭解決之混合委員會設置問題。

一、國境確定委員會設置問題。

一、滿蒙國境問題。

一、極東赤軍撤退問題。

蘇俄關金廠溝事件 暗使工作顯然 關東軍接報告發表

新京四日電。據關東軍發表。關金廠溝事件。綜合其所後得報告。蘇俄對滿洲國境監視隊。駐在中村中尉戰死。戴國臣軍曹以下。十數名。遭受重傷。其詳細如左。

一、一月三十日。日系軍官中村震三中尉。所率領軍斥候。在二十二號界標附近。爲俄兵所擊。中村中尉戰死。戴國臣軍曹以下。十數名。遭受重傷。其詳細如左。

俄兵與叛匪 越境攻擊 滿洲國發表

新京四日電。據滿洲國外交部發表。就一月三十日以來。俄兵與叛匪。在金廠溝附近。越境攻擊事件四日發表當局談。大要如左。

一、接金廠溝事件報告。外交部。直命綏芬河辦事處。要求該地俄領事點交犯人。彼約善處。

二、次三十一日。外交部北滿特派員。暨之兵變叛逃。爲殺人。放火。略奪重大刑事犯。亦要求哈埠俄總領事點交。約報告俄都。

三、然觀其後推移。佳人全然架空宣傳。不特無義我方要求。卻於三十三一日。參加根據俄兵反覆攻擊滿洲一部兵。

泰記汽船會社 全乘組員 改善待遇

基隆市泰記汽船會社。所有汽船四隻。就航于東海岸方面。其乘組員提唱改善待遇。自本年初協議中。對會社提出陳情書。而會社三、此回事件。顯爲俄人計畫的行爲。使日滿側困惑。此其民意。似在導之國境國際委員會。

貴衆兩院官僚間 再論舉國一致

總選後或起內閣改造問題

東京五日電。總選舉。迫在二週間後。全國政戰。漸見白熱化。政友。民政兩黨領袖中。有主張總選舉後。政民提携論。此舉於政局之歸趨直接。有大影響。成行爲人重視。況民政黨內。從來堅持此主張之川崎新文相。似懷意向如左。

即自現內閣成立後。各方面。要求舉國一致內閣。巡視大連都督。齋藤總督。及各派出所。監察警察分署。及各派出所。

開役員會

新店信用購買利組合。訂本六日假組合樓上。開臨時役員會。常日議事。爲參議信用評定委員會。及監組紀念行事等之磋商云。

新店 新店燈謎

新店碧潭文社。訂來七日起。（即古曆元宵）三日間。假合皇芳金舖前。開催燈謎。贈品由春組值米。高火木高。周金盛蔡玉麟陳局。謝氏鋼皇。希望多往射式云。

大溪 部長巡視

管內州高屬警務部長外。隨員一行二十一名。月三日起。三日間。巡視大溪都督。齋藤總督分室。及各派出所。並各警察官吏。一行到着後。即開大溪郡廳。大溪郡守。及各課長。出迎。

課長更迭

法部總務課長。

人事

▲在臺板橋郵便局長被命實任。今回被命者。現奉職三井保險株式會社。尹中就在所定出日高代代理。

▲新竹市役所。去三日午後七時。招集市各區長。於市民臨時會。礎商事項。及中市昭和十一年度豫算所關之件。及五年十四ノ名所云。

▲嘉義郡庶務課長津田健治氏。今回榮轉爲州地方係長。而後任以富田警部補充之。對此送迎會。由警察課所催。船岡公會。廠溝組合員主催。訂來七日午後五時。假高砂樓開催。

彰市綿布卸商 臨時總會

彰化市綿布卸商組合。臨時總會。去四日午後三時開于市會議室。是日出席者。近藤組合長外組合員二十三名。一同席定。首由近藤組合長敘禮。就議長席。俱後。組合間悔重磋商結果。俱照原案可決。次承認事項。爲店員勤務時間勵行。定休日設定。退職後待遇改善等件。經議長說明後。滿場一致。照案贊成。至午後五時閉會。

用刀自刺 告訴被人傷害

既報嘉義市元町許日。與同市南門町汪聰明兩名。共謀歐傷商。後折股。聰明懷恨。於舊曆除夕夜。

色魔强盜犯林發 一中二年生退學者 其父商業失敗陷于作

殺害惠祥小使續報 誘入蔗園內扼殺之 鉅金寄堂叔家亦經搜出

既報五千餘圓携帶者。臺中市橘町四丁目。惠祥商會小使。張輝煌。年十七被人殺害事件。其後捕獲大屯郡北屯庄四張犁。現住所。臺中市橘町。四丁目二十八番地。林朝和。年二十八。連日取調結果。去四日午前一時頃。始自白一切之犯行。據其供述。去一月十四日。午後三時頃。在日本食料品會社工場（日本製氷）。遇被害者。要帆布袋內之金給他。張不肯。林終以手扼殺之。而奪其金。五千三百八十五圓。將張所乘自轉車。牽入蔗園內。然後歸家。因行兇後。顏色蒼白。連飲水道水。十數杯。追精神略定。方將奪取之巨金。用新聞紙包裹。預此預彼。最後寄其堂叔。臺中市綠川町。一丁目。燒麵包職工。林再興。搜查隊。於去四日午前三時以。到再興之家詢問。答以有新聞紙包。而却不知中有巨金。搜查隊獲得證據品。定奪凱而歸。聞林朝和敢大膽。行此無天無理之犯罪非屬計畫的動機。因負債六百圓。數被債鬼催促窮於融通。見張携帆布袋。遂起惡念。一時好似無頭公案之本件。自死體發

欲赴新店 誤搭南下列車 抵彰始覺

臺北市大龍峒人。陳氏蓮年三十。去四日。由萬華買車單。欲往新店。誤乘南下列車。三時十分。抵彰在出札口。始判明誤乘。受鈴木驛取締巡查取調。自供爲最近二歲兒死亡。一時悲觀至極。精神異狀。目下在彰化署保護中云。

竊起水貨 各犯求刑懲役

臺南安平港拜面起。水之貨。自數年來恒被從中抽取。被害之數。達數千圓。臺南警察署。久在偵緝中。客月乃破獲此竊盜團。則起水之船夫。安平街謝國山。陳明福。陳三。楊源成。周等福。蔡李明等六名。並歷置贓品。代爲發脫之陳石玉。計七名。抄出贓品。審訊後。俱各供承。以竊盜罪於客月二十四日。送諸臺南地方法院。去四朝十時。在該院刑事單獨部。由田口判官承審。對諸犯松尾檢察官開與。對諸犯各求刑懲役十月云。

是々非々

臺第二警察官吏。名逮捕三張犁人林某。金錢不遠。要其左手。至於骨斷。頭部亦負重傷。路過之旗行。要嚴辨也（須安維持論者）。

臺中警察署。大屯郡警察官。生產者及買主之苦情。要詳細查

軍司令部傳書鳩二 被空氣銃射死

臺灣軍司令部傳書鳩二隻。不知被何人。用空氣銃射殺。現由臺北憲兵分隊。搜查犯人。先是月二日午後三時。一隻棲于市內文武町。總督官邸庭園樹枝。被人射死。翌三日發覺。一隻亦于同處被射死。平林分隊長。加藤班長。久木元司法係接報。馳到現場檢證。並求鳩班係員立會解剖。察ㄙ氣銃之散彈。非普通玩具川者。爲力甚強。且能傷人。一同乃將鳩死骸。親切埋葬于園山陸軍墓地。一面以陸軍刑法第八十三條軍用物損壞罪。欲對加害者處以懲役十年以下。以警戒後人云。

商況（五日）

▲就北市商業所屬自長臺北市區之使命也。去四日振去。計六日午前八時。在自宅舉行葬式。

米況

正米市況前場

（一回）中 一三〇八 一三〇九 一三〇六 一三〇七 一三〇八 一三〇九 一三一〇 一三一一 一三一二 一三一三 一三一四 一三一五 一三一六 一三一七 一三一八 一三一九 一三二〇 一三二一 一三二二 一三二三 一三二四 一三二五 一三二六 一三二七 一三二八 一三二九 一三三〇 一三三一 一三三二 一三三三 一三三四 一三三五 一三三六 一三三七 一三三八 一三三九 一三四〇 一三四一 一三四二 一三四三 一三四四 一三四五 一三四六 一三四七 一三四八 一三四九 一三五〇 一三五一 一三五二 一三五三 一三五四 一三五五 一三五六 一三五七 一三五八 一三五九 一三六〇 一三六一 一三六二 一三六三 一三六四 一三六五 一三六六 一三六七 一三六八 一三六九 一三七〇 一三七一 一三七二 一三七三 一三七四 一三七五 一三七六 一三七七 一三七八 一三七九 一三八〇 一三八一 一三八二 一三八三 一三八四 一三八五 一三八六 一三八七 一三八八 一三八九 一三九〇 一三九一 一三九二 一三九三 一三九四 一三九五 一三九六 一三九七 一三九八 一三九九 一四〇〇 一四〇一 一四〇二 一四〇三 一四〇四 一四〇五 一四〇六 一四〇七 一四〇八 一四〇九 一四一〇 一四一一 一四一二 一四一三 一四一四 一四一五 一四一六 一四一七 一四一八 一四一九 一四二〇 一四二一 一四二二 一四二三 一四二四 一四二五 一四二六 一四二七 一四二八 一四二九 一四三〇 一四三一 一四三二 一四三三 一四三四 一四三五 一四三六 一四三七 一四三八 一四三九 一四四〇 一四四一 一四四二 一四四三 一四四四 一四四五 一四四六 一四四七 一四四八 一四四九 一四五〇 一四五一 一四五二 一四五三 一四五四 一四五五 一四五六 一四五七 一四五八 一四五九 一四六〇 一四六一 一四六二 一四六三 一四六四 一四六五 一四六六 一四六七 一四六八 一四六九 一四七〇 一四七一 一四七二 一四七三 一四七四 一四七五 一四七六 一四七七 一四七八 一四七九 一四八〇 一四八一 一四八二 一四八三 一四八四 一四八五 一四八六 一四八七 一四八八 一四八九 一四九〇 一四九一 一四九二 一四九三 一四九四 一四九五 一四九六 一四九七 一四九八 一四九九 一五〇〇

期米

大阪期米前場

（一回）中 一二〇八 一二〇九 一二一〇 一二一一 一二一二 一二一三 一二一四 一二一五 一二一六 一二一七 一二一八 一二一九 一二二〇 一二二一 一二二二 一二二三 一二二四 一二二五 一二二六 一二二七 一二二八 一二二九 一二三〇 一二三一 一二三二 一二三三 一二三四 一二三五 一二三六 一二三七 一二三八 一二三九 一二四〇 一二四一 一二四二 一二四三 一二四四 一二四五 一二四六 一二四七 一二四八 一二四九 一二五〇 一二五一 一二五二 一二五三 一二五四 一二五五 一二五六 一二五七 一二五八 一二五九 一二六〇 一二六一 一二六二 一二六三 一二六四 一二六五 一二六六 一二六七 一二六八 一二六九 一二七〇 一二七一 一二七二 一二七三 一二七四 一二七五 一二七六 一二七七 一二七八 一二七九 一二八〇 一二八一 一二八二 一二八三 一二八四 一二八五 一二八六 一二八七 一二八八 一二八九 一二九〇 一二九一 一二九二 一二九三 一二九四 一二九五 一二九六 一二九七 一二九八 一二九九 一三〇〇

株式

大阪短期前場

（一回）中 一五〇〇 一五〇一 一五〇二 一五〇三 一五〇四 一五〇五 一五〇六 一五〇七 一五〇八 一五〇九 一五一〇 一五一一 一五一二 一五一三 一五一四 一五一五 一五一六 一五一七 一五一八 一五一九 一五二〇 一五二一 一五二二 一五二三 一五二四 一五二五 一五二六 一五二七 一五二八 一五二九 一五三〇 一五三一 一五三二 一五三三 一五三四 一五三五 一五三六 一五三七 一五三八 一五三九 一五四〇 一五四一 一五四二 一五四三 一五四四 一五四五 一五四六 一五四七 一五四八 一五四九 一五五〇 一五五一 一五五二 一五五三 一五五四 一五五五 一五五六 一五五七 一五五八 一五五九 一五六〇 一五六一 一五六二 一五六三 一五六四 一五六五 一五六六 一五六七 一五六八 一五六九 一五七〇 一五七一 一五七二 一五七三 一五七四 一五七五 一五七六 一五七七 一五七八 一五七九 一五八〇 一五八一 一五八二 一五八三 一五八四 一五八五 一五八六 一五八七 一五八八 一五八九 一五九〇 一五九一 一五九二 一五九三 一五九四 一五九五 一五九六 一五九七 一五九八 一五九九 一六〇〇

東京短期前場

（一回）中 一五九〇 一五九一 一五九二 一五九三 一五九四 一五九五 一五九六 一五九七 一五九八 一五九九 一六〇〇 一六〇一 一六〇二 一六〇三 一六〇四 一六〇五 一六〇六 一六〇七 一六〇八 一六〇九 一六一〇 一六一一 一六一二 一六一三 一六一四 一六一五 一六一六 一六一七 一六一八 一六一九 一六二〇 一六二一 一六二二 一六二三 一六二四 一六二五 一六二六 一六二七 一六二八 一六二九 一六三〇 一六三一 一六三二 一六三三 一六三四 一六三五 一六三六 一六三七 一六三八 一六三九 一六四〇 一六四一 一六四二 一六四三 一六四四 一六四五 一六四六 一六四七 一六四八 一六四九 一六五〇 一六五一 一六五二 一六五三 一六五四 一六五五 一六五六 一六五七 一六五八 一六五九 一六六〇 一六六一 一六六二 一六六三 一六六四 一六六五 一六六六 一六六七 一六六八 一六六九 一六七〇 一六七一 一六七二 一六七三 一六七四 一六七五 一六七六 一六七七 一六七八 一六七九 一六八〇 一六八一 一六八二 一六八三 一六八四 一六八五 一六八六 一六八七 一六八八 一六八九 一六九〇 一六九一 一六九二 一六九三 一六九四 一六九五 一六九六 一六九七 一六九八 一六九九 一七〇〇

砂糖

大阪清算

（一回）中 一二〇八 一二〇九 一二一〇 一二一一 一二一二 一二一三 一二一四 一二一五 一二一六 一二一七 一二一八 一二一九 一二二〇 一二二一 一二二二 一二二三 一二二四 一二二五 一二二六 一二二七 一二二八 一二二九 一二三〇 一二三一 一二三二 一二三三 一二三四 一二三五 一二三六 一二三七 一二三八 一二三九 一二四〇 一二四一 一二四二 一二四三 一二四四 一二四五 一二四六 一二四七 一二四八 一二四九 一二五〇 一二五一 一二五二 一二五三 一二五四 一二五五 一二五六 一二五七 一二五八 一二五九 一二六〇 一二六一 一二六二 一二六三 一二六四 一二六五 一二六六 一二六七 一二六八 一二六九 一二七〇 一二七一 一二七二 一二七三 一二七四 一二七五 一二七六 一二七七 一二七八 一二七九 一二八〇 一二八一 一二八二 一二八三 一二八四 一二八五 一二八六 一二八七 一二八八 一二八九 一二九〇 一二九一 一二九二 一二九三 一二九四 一二九五 一二九六 一二九七 一二九八 一二九九 一三〇〇

神戶期米前場

（一回）中 一二〇八 一二〇九 一二一〇 一二一一 一二一二 一二一三 一二一四 一二一五 一二一六 一二一七 一二一八 一二一九 一二二〇 一二二一 一二二二 一二二三 一二二四 一二二五 一二二六 一二二七 一二二八 一二二九 一二三〇 一二三一 一二三二 一二三三 一二三四 一二三五 一二三六 一二三七 一二三八 一二三九 一二四〇 一二四一 一二四二 一二四三 一二四四 一二四五 一二四六 一二四七 一二四八 一二四九 一二五〇 一二五一 一二五二 一二五三 一二五四 一二五五 一二五六 一二五七 一二五八 一二五九 一二六〇 一二六一 一二六二 一二六三 一二六四 一二六五 一二六六 一二六七 一二六八 一二六九 一二七〇 一二七一 一二七二 一二七三 一二七四 一二七五 一二七六 一二七七 一二七八 一二七九 一二八〇 一二八一 一二八二 一二八三 一二八四 一二八五 一二八六 一二八七 一二八八 一二八九 一二九〇 一二九一 一二九二 一二九三 一二九四 一二九五 一二九六 一二九七 一二九八 一二九九 一三〇〇

穀肥

東京期米前場

（一回）中 一二〇八 一二〇九 一二一〇 一二一一 一二一二 一二一三 一二一四 一二一五 一二一六 一二一七 一二一八 一二一九 一二二〇 一二二一 一二二二 一二二三 一二二四 一二二五 一二二六 一二二七 一二二八 一二二九 一二三〇 一二三一 一二三二 一二三三 一二三四 一二三五 一二三六 一二三七 一二三八 一二三九 一二四〇 一二四一 一二四二 一二四三 一二四四 一二四五 一二四六 一二四七 一二四八 一二四九 一二五〇 一二五一 一二五二 一二五三 一二五四 一二五五 一二五六 一二五七 一二五八 一二五九 一二六〇 一二六一 一二六二 一二六三 一二六四 一二六五 一二六六 一二六七 一二六八 一二六九 一二七〇 一二七一 一二七二 一二七三 一二七四 一二七五 一二七六 一二七七 一二七八 一二七九 一二八〇 一二八一 一二八二 一二八三 一二八四 一二八五 一二八六 一二八七 一二八八 一二八九 一二九〇 一二九一 一二九二 一二九三 一二九四 一二九五 一二九六 一二九七 一二九八 一二九九 一三〇〇

神戶豆粕

（一回）中 一二〇八 一二〇九 一二一〇 一二一一 一二一二 一二一三 一二一四 一二一五 一二一六 一二一七 一二一八 一二一九 一二二〇 一二二一 一二二二 一二二三 一二二四 一二二五 一二二六 一二二七 一二二八 一二二九 一二三〇 一二三一 一二三二 一二三三 一二三四 一二三五 一二三六 一二三七 一二三八 一二三九 一二四〇 一二四一 一二四二 一二四三 一二四四 一二四五 一二四六 一二四七 一二四八 一二四九 一二五〇 一二五一 一二五二 一二五三 一二五四 一二五五 一二五六 一二五七 一二五八 一二五九 一二六〇 一二六一 一二六二 一二六三 一二六四 一二六五 一二六六 一二六七 一二六八 一二六九 一二七〇 一二七一 一二七二 一二七三 一二七四 一二七五 一二七六 一二七七 一二七八 一二七九 一二八〇 一二八一 一二八二 一二八三 一二八四 一二八五 一二八六 一二八七 一二八八 一二八九 一二九〇 一二九一 一二九二 一二九三 一二九四 一二九五 一二九六 一二九七 一二九八 一二九九 一三〇〇

シカゴ小麥

（一回）中 一二〇八 一二〇九 一二一〇 一二一一 一二一二 一二一三 一二一四 一二一五 一二一六 一二一七 一二一八 一二一九 一二二〇 一二二一 一二二二 一二二三 一二二四 一二二五 一二二六 一二二七 一二二八 一二二九 一二三〇 一二三一 一二三二 一二三三 一二三四 一二三五 一二三六 一二三七 一二三八 一二三九 一二四〇 一二四一 一二四二 一二四三 一二四四 一二四五 一二四六 一二四七 一二四八 一二四九 一二五〇 一二五一 一二五二 一二五三 一二五四 一二五五 一二五六 一二五七 一二五八 一二五九 一二六〇 一二六一 一二六二 一二六三 一二六四 一二六五 一二六六 一二六七 一二六八 一二六九 一二七〇 一二七一 一二七二 一二七三 一二七四 一二七五 一二七六 一二七七 一二七八 一二七九 一二八〇 一二八一 一二八二 一二八三 一二八四 一二八五 一二八六 一二八七 一二八八 一二八九 一二九〇 一二九一 一二九二 一二九三 一二九四 一二九五 一二九六 一二九七 一二九八 一二九九 一三〇〇

銀塊

大阪現物

（一回）中 一二〇八 一二〇九 一二一〇 一二一一 一二一二 一二一三 一二一四 一二一五 一二一六 一二一七 一二一八 一二一九 一二二〇 一二二一 一二二二 一二二三 一二二四 一二二五 一二二六 一二二七 一二二八 一二二九 一二三〇 一二三一 一二三二 一二三三 一二三四 一二三五 一二三六 一二三七 一二三八 一二三九 一二四〇 一二四一 一二四二 一二四三 一二四四 一二四五 一二四六 一二四七 一二四八 一二四九 一二五〇 一二五一 一二五二 一二五三 一二五四 一二五五 一二五六 一二五七 一二五八 一二五九 一二六〇 一二六一 一二六二 一二六三 一二六四 一二六五 一二六六 一二六七 一二六八 一二六九 一二七〇 一二七一 一二七二 一二七三 一二七四 一二七五 一二七六 一二七七 一二七八 一二七九 一二八〇 一二八一 一二八二 一二八三 一二八四 一二八五 一二八六 一二八七 一二八八 一二八九 一二九〇 一二九一 一二九二 一二九三 一二九四 一二九五 一二九六 一二九七 一二九八 一二九九 一三〇〇

大阪棉花

（一回）中 一二〇八 一二〇九 一二一〇 一二一一 一二一二 一二一三 一二一四 一二一五 一二一六 一二一七 一二一八 一二一九 一二二〇 一二二一 一二二二 一二二三 一二二四 一二二五 一二二六 一二二七 一二二八 一二二九 一二三〇 一二三一 一二三二 一二三三 一二三四 一二三五 一二三六 一二三七 一二三八 一二三九 一二四〇 一二四一 一二四二 一二四三 一二四四 一二四五 一二四六 一二四七 一二四八 一二四九 一二五〇 一二五一 一二五二 一二五三 一二五四 一二五五 一二五六 一二五七 一二五八 一二五九 一二六〇 一二六一 一二六二 一二六三 一二六四 一二六五 一二六六 一二六七 一二六八 一二六九 一二七〇 一二七一 一二七二 一二七三 一二七四 一二七五 一二七六 一二七七 一二七八 一二七九 一二八〇 一二八一 一二八二 一二八三 一二八四 一二八五 一二八六 一二八七 一二八八 一二八九 一二九〇 一二九一 一二九二 一二九三 一二九四 一二九五 一二九六 一二九七 一二九八 一二九九 一三〇〇

絲況

大阪綿絲

（一回）中 一二〇八 一二〇九 一二一〇 一二一一 一二一二 一二一三 一二一四 一二一五 一二一六 一二一七 一二一八 一二一九 一二二〇 一二二一 一二二二 一二二三 一二二四 一二二五 一二二六 一二二七 一二二八 一二二九 一二三〇 一二三一 一二三二 一二三三 一二三四 一二三五 一二三六 一二三七 一二三八 一二三九 一二四〇 一二四一 一二四二 一二四三 一二四四 一二四五 一二四六 一二四七 一二四八 一二四九 一二五〇 一二五一 一二五二 一二五三 一二五四 一二五五 一二五六 一二五七 一二五八 一二五九 一二六〇 一二六一 一二六二 一二六三 一二六四 一二六五 一二六六 一二六七 一二六八 一二六九 一二七〇 一二七一 一二七二 一二七三 一二七四 一二七五 一二七六 一二七七 一二七八 一二七九 一二八〇 一二八一 一二八二 一二八三 一二八四 一二八五 一二八六 一二八七 一二八八 一二八九 一二九〇 一二九一 一二九二 一二九三 一二九四 一二九五 一二九六 一二九七 一二九八 一二九九 一三〇〇

橫濱生絲

（一回）中 一二〇八 一二〇九 一二一〇 一二一一 一二一二 一二一三 一二一四 一二一五 一二一六 一二一七 一二一八 一二一九 一二二〇 一二二一 一二二二 一二二三 一二二四 一二二五 一二二六 一二二七 一二二八 一二二九 一二三〇 一二三一 一二三二 一二三三 一二三四 一二三五 一二三六 一二三七 一二三八 一二三九 一二四〇 一二四一 一二四二 一二四三 一二四四 一二四五 一二四六 一二四七 一二四八 一二四九 一二五〇 一二五一 一二五二 一二五三 一二五四 一二五五 一二五六 一二五七 一二五八 一二五九 一二六〇 一二六一 一二六二 一二六三 一二六四 一二六五 一二六六 一二六七 一二六八 一二六九 一二七〇 一二七一 一二七二 一二七三 一二七四 一二七五 一二七六 一二七七 一二七八 一二七九 一二八〇 一二八一 一二八二 一二八三 一二八四 一二八五 一二八六 一二八七 一二八八 一二八九 一二九〇 一二九一 一二九二 一二九三 一二九四 一二九五 一二九六 一二九七 一二九八 一二九九 一三〇〇

爲替

外國爲相場

（一回）中 一二〇八 一二〇九 一二一〇 一二一一 一二一二 一二一三 一二一四 一二一五 一二一六 一二一七 一二一八 一二一九 一二二〇 一二二一 一二二二 一二二三 一二二四 一二二五 一二二六 一二二七 一二二八 一二二九 一二三〇 一二三一 一二三二 一二三三 一二三四 一二三五 一二三六 一二三七 一二三八 一二三九 一二四〇 一二四一 一二四二 一二四三 一二四四 一二四五 一二四六 一二四七 一二四八 一二四九 一二五〇 一二五一 一二五二 一二五三 一二五四 一二五五 一二五六 一二五七 一二五八 一二五九 一二六〇 一二六一 一二六二 一二六三 一二六四 一二六五 一二六六 一二六七 一二六八 一二六九 一二七〇 一二七一 一二七二 一二七三 一二七四 一二七五 一二七六 一二七七 一二七八 一二七九 一二八〇 一二八一 一二八二 一二八三 一二八四 一二八五 一二八六 一二八七 一二八八 一二八九 一二九〇 一二九一 一二九二 一二九三 一二九四 一二九五 一二九六 一二九七 一二九八 一二九九 一三〇〇

神戶對外爲替

（一回）中 一二〇八 一二〇九 一二一〇 一二一一 一二一二 一二一三 一二一四 一二一五 一二一六 一二一七 一二一八 一二一九 一二二〇 一二二一 一二二二 一二二三 一二二四 一二二五 一二二六 一二二七 一二二八 一二二九 一二三〇 一二三一 一二三二 一二三三 一二三四 一二三五 一二三六 一二三七 一二三八 一二三九 一二四〇 一二四一 一二四二 一二四三 一二四四 一二四五 一二四六 一二四七 一二四八 一二四九 一二五〇 一二五一 一二五二 一二五三 一二五四 一二五五 一二五六 一二五七 一二五八 一二五九 一二六〇 一二六一 一二六二 一二六三 一二六四 一二六五 一二六六 一二六七 一二六八 一二六九 一二七〇 一二七一 一二七二 一二七三 一二七四 一二七五 一二七六 一二七七 一二七八 一二七九 一二八〇 一二八一 一二八二 一二八三 一二八四 一二八五 一二八六 一二八七 一二八八 一二八九 一二九〇 一二九一 一二九二 一二九三 一二九四 一二九五 一二九六 一二九七 一二九八 一二九九 一三〇〇

東京銀行賣株

（一回）中 一二〇八 一二〇九 一二一〇 一二一一 一二一二 一二一三 一二一四 一二一五 一二一六 一二一七 一二一八 一二一九 一二二〇 一二二一 一二二二 一二二三 一二二四 一二二五 一二二六 一二二七 一二二八 一二二九 一二三〇 一二三一 一二三二 一二三三 一二三四 一二三五 一二三六 一二三七 一二三八 一二三九 一二四〇 一二四一 一二四二 一二四三 一二四四 一二四五 一二四六 一二四七 一二四八 一二四九 一二五〇 一二五一 一二五二 一二五三 一二五四 一二五五 一二五六 一二五七 一二五八 一二五九 一二六〇 一二六一 一二六二 一二六三 一二六四 一二六五 一二六六 一二六七 一二六八 一二六九 一二七〇 一二七一 一二七二 一二七三 一二七四 一二七五 一二七六 一二七七 一二七八 一二七九 一二八〇 一二八一 一二八二 一二八三 一二八四 一二八五 一二八六 一二八七 一二八八 一二八九 一二九〇 一二九一 一二九二 一二九三 一二九四 一二九五 一二九六 一二九七 一二九八 一二九九 一三〇〇

紐育株式

（一回）中 一二〇八 一二〇九 一二一〇 一二一一 一二一二 一二一三 一二一四 一二一五 一二一六 一二一七 一二一八 一二一九 一二二〇 一二二一 一二二二 一二二三 一二二四 一二二五 一二二六 一二二七 一二二八 一二二九 一二三〇 一二三一 一二三二 一二三三 一二三四 一二三五 一二三六 一二三七 一二三八 一二三九 一二四〇 一二四一 一二四二 一二四三 一二四四 一二四五 一二四六 一二四七 一二四八 一二四九 一二五〇 一二五一 一二五二 一二五三 一二五四 一二五五 一二五六 一二五七 一二五八 一二五九 一二六〇 一二六一 一二六二 一二六三 一二六四 一二六五 一二六六 一二六七 一二六八 一二六九 一二七〇 一二七一 一二七二 一二七三 一二七四 一二七五 一二七六 一二七七 一二七八 一二七九 一二八〇 一二八一 一二八二 一二八三 一二八四 一二八五 一二八六 一二八七 一二八八 一二八九 一二九〇 一二九一 一二九二 一二九三 一二九四 一二九五 一二九六 一二九七 一二九八 一二九九 一三〇〇

臺灣日日新報　廣告

白根松介商店　雜件

萬應液　鐵の強壯劑　修繕完全　臺北市御成町二ノ六

有血痕鉞

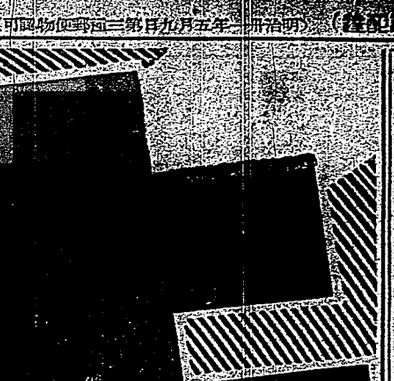
クシャ十二

貢増大号双號月二

臺灣日日新報
臺灣新竹幸尼
本日夕刊共二十頁
右賜野卿入行之を配
即発市北臺ノ所行反
此級新月日開条
周　壹行一（地通費）
拾五圓　壹行一（別特）
圓　貳行一（入別車）

感激の大名篇無類の大傑作小說！

トテモ讀み應へがあつて實に面白いと愈〻大人氣！讀者大激增！誰方も早く御覽下さい。



大傑作小說 光の壁

實寫の 娯樂の王國＝淺草大人氣者大座談會

▲實寫映畫 ハード少將南極探檢壯烈記

▲日本を偉大ならしむる道 德富猪一郎
▲誰か涙なきものぞ（旅順の戰跡に立ちて） 間宮 英宗
▲佳話珍話—名士の面影（▲全國都市人口番附 ▲天の聲地の聲 ▲戰友よさらば（日淸）田淵公生 ▲一問一答常識大學 ▲人生書訓）

歷史的思ひ出寫眞集

▲漫畫大レヴユー館（特別色刷）
▲時事問題早わかり（懸賞漫畫）

特別附錄 股旅小說傑作集

▲仇討仁義 兄弟やくざ 鑑 橋爪 彦七
▲股旅小說 月夜船 股旅小唄 小山 章二
▲股旅小說 無賴は討たず 山本 周五郎

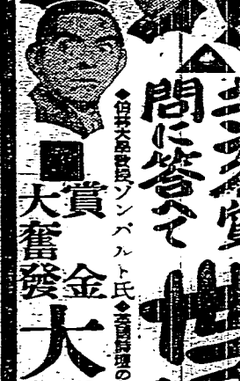
巻末附錄 目下評判 面白小說傑作選

▲股旅小說 大股旅 長谷川 伸
▲時代小說 面藏の古傷 大倉桃郎
▲小說 人の鎧 中野孝治
▲純情小說 冷たき供養 木村 毅
▲探偵小說 目に見えぬ塔 キネアルチ原作 岸田國士譯述

賞金二千円提供 犯人探し大懸賞 帆走船殺人

探偵小說大下宇陀兒

犯人はそも何者？



愉快のキング大人娯樂園

▲キングの質問に答へて 世界一流の人物は斯く語る ◆伯井大原貴族ゾンバルト氏 ◆文藝評論の長老アーサー・シモンズ氏 ◆英國海軍出身探險家エデー・カンター氏 ◆英國海軍出身探險家スタンドレート大將等々
▲漫談＝偉いぞニッポン……大辻司郎
結婚いろ〳〵打明話（女の見差すべからざる魔力）

王國 キング大懸賞各種原稿募集

◆笑の小說 ◆本當の小說 ◆本當の體驗談 ◆日本一の發明 ◆日本一の發見 ◆日本一の大發明 ◆日本一の大發見 ◆日本一の大發明 ◆日本一の大發見

連載小說 呼子鳥 加藤武雄

連載小說 光の壁 菊池寬

連載小說 ちゃん 川口松太郎

連載小說 青い眞珠 吉屋信子

連載小說 鎖の 三上於菟吉

連載小說 双鏡 子母沢寛

連載小說 街の 菊池寬

連載小說 女 神田 越山

連載小說 泣く 中村武羅夫

連載小說 塔 ミヤル窪 碧譯誕

連載小說 東京の 白井 喬二

連載小說 皇后 中野実

連載小說 家 金語樓 柳

連載小說 屋 大日本雄辯會講談社

連載小說 かり

連載小說 家

連載小說 屋

連載小說 家

連載小說 屋

連載小說 家

連載小說 屋

製糖實績不良と甘蔗の退化
優良新品種への轉換が急務

一

期間中の製糖作業は概ね昨年同様の日數を經たが、今年の甘蔗の品質は昨年に比べ著しく劣悪であつた。即ち昨年は十月中旬から十一月上旬にかけて降雨が多かつたので甘蔗の發育は良好であつたが、今年は十月中旬から降雨が少なく、十一月に入つても殆んど降雨がなかつたので甘蔗の發育は不良であつた。

又昨年は十月中旬から十一月上旬にかけて降雨が多かつたので甘蔗の發育は良好であつたが、今年は十月中旬から降雨が少なく、十一月に入つても殆んど降雨がなかつたので甘蔗の發育は不良であつた。

二

然らば根本的な原因如何といふに、甘蔗そのものの退化が最も重要であり、それが爪哇では捨てられた品種であるにも拘らず本島に於ては優良品種であるとされたのである。然し乍ら如何に優秀な品種であつても同一地方に永く栽培するに於ては漸次退化するは免れ得ない事實であつて、それ故に二七二五號は勿論二七一五號は勿論二七一〇號は勿論二七〇五號は勿論二七〇〇號は勿論二六九五號は勿論二六九〇號は勿論二六八五號は勿論二六八〇號は勿論二六七五號は勿論二六七〇號は勿論二六六五號は勿論二六六〇號は勿論二六五五號は勿論二六五〇號は勿論二六四五號は勿論二六四〇號は勿論二六三五號は勿論二六三〇號は勿論二六二五號は勿論二六二〇號は勿論二六一五號は勿論二六一〇號は勿論二六〇五號は勿論二六〇〇號は勿論二五九五號は勿論二五九〇號は勿論二五八五號は勿論二五八〇號は勿論二五七五號は勿論二五七〇號は勿論二五六五號は勿論二五六〇號は勿論二五五五號は勿論二五五〇號は勿論二五四五號は勿論二五四〇號は勿論二五三五號は勿論二五三〇號は勿論二五二五號は勿論二五二〇號は勿論二五一五號は勿論二五一〇號は勿論二五〇五號は勿論二五〇〇號は勿論二四九五號は勿論二四九〇號は勿論二四八五號は勿論二四八〇號は勿論二四七五號は勿論二四七〇號は勿論二四六五號は勿論二四六〇號は勿論二四五五號は勿論二四五〇號は勿論二四四五號は勿論二四四〇號は勿論二四三五號は勿論二四三〇號は勿論二四二五號は勿論二四二〇號は勿論二四一五號は勿論二四一〇號は勿論二四〇五號は勿論二四〇〇號は勿論二三九五號は勿論二三九〇號は勿論二三八五號は勿論二三八〇號は勿論二三七五號は勿論二三七〇號は勿論二三六五號は勿論二三六〇號は勿論二三五五號は勿論二三五〇號は勿論二三四五號は勿論二三四〇號は勿論二三三五號は勿論二三三〇號は勿論二三二五號は勿論二三二〇號は勿論二三一五號は勿論二三一〇號は勿論二三〇五號は勿論二三〇〇號は勿論二二九五號は勿論二二九〇號は勿論二二八五號は勿論二二八〇號は勿論二二七五號は勿論二二七〇號は勿論二二六五號は勿論二二六〇號は勿論二二五五號は勿論二二五〇號は勿論二二四五號は勿論二二四〇號は勿論二二三五號は勿論二二三〇號は勿論二二二五號は勿論二二二〇號は勿論二二一五號は勿論二二一〇號は勿論二二〇五號は勿論二二〇〇號は勿論二一九五號は勿論二一九〇號は勿論二一八五號は勿論二一八〇號は勿論二一七五號は勿論二一七〇號は勿論二一六五號は勿論二一六〇號は勿論二一五五號は勿論二一五〇號は勿論二一四五號は勿論二一四〇號は勿論二一三五號は勿論二一三〇號は勿論二一二五號は勿論二一二〇號は勿論二一一五號は勿論二一一〇號は勿論二一〇五號は勿論二一〇〇號は勿論二〇九五號は勿論二〇九〇號は勿論二〇八五號は勿論二〇八〇號は勿論二〇七五號は勿論二〇七〇號は勿論二〇六五號は勿論二〇六〇號は勿論二〇五五號は勿論二〇五〇號は勿論二〇四五號は勿論二〇四〇號は勿論二〇三五號は勿論二〇三〇號は勿論二〇二五號は勿論二〇二〇號は勿論二〇一五號は勿論二〇一〇號は勿論二〇〇五號は勿論二〇〇〇號は勿論一九九五號は勿論一九九〇號は勿論一九八五號は勿論一九八〇號は勿論一九七五號は勿論一九七〇號は勿論一九六五號は勿論一九六〇號は勿論一九五五號は勿論一九五〇號は勿論一九四五號は勿論一九四〇號は勿論一九三五號は勿論一九三〇號は勿論一九二五號は勿論一九二〇號は勿論一九一五號は勿論一九一〇號は勿論一九〇五號は勿論一九〇〇號は勿論一八九五號は勿論一八九〇號は勿論一八八五號は勿論一八八〇號は勿論一八七五號は勿論一八七〇號は勿論一八六五號は勿論一八六〇號は勿論一八五五號は勿論一八五〇號は勿論一八四五號は勿論一八四〇號は勿論一八三五號は勿論一八三〇號は勿論一八二五號は勿論一八二〇號は勿論一八一五號は勿論一八一〇號は勿論一八〇五號は勿論一八〇〇號は勿論一七九五號は勿論一七九〇號は勿論一七八五號は勿論一七八〇號は勿論一七七五號は勿論一七七〇號は勿論一七六五號は勿論一七六〇號は勿論一七五五號は勿論一七五〇號は勿論一七四五號は勿論一七四〇號は勿論一七三五號は勿論一七三〇號は勿論一七二五號は勿論一七二〇號は勿論一七一五號は勿論一七一〇號は勿論一七〇五號は勿論一七〇〇號は勿論一六九五號は勿論一六九〇號は勿論一六八五號は勿論一六八〇號は勿論一六七五號は勿論一六七〇號は勿論一六六五號は勿論一六六〇號は勿論一六五五號は勿論一六五〇號は勿論一六四五號は勿論一六四〇號は勿論一六三五號は勿論一六三〇號は勿論一六二五號は勿論一六二〇號は勿論一六一五號は勿論一六一〇號は勿論一六〇五號は勿論一六〇〇號は勿論一五九五號は勿論一五九〇號は勿論一五八五號は勿論一五八〇號は勿論一五七五號は勿論一五七〇號は勿論一五六五號は勿論一五六〇號は勿論一五五五號は勿論一五五〇號は勿論一五四五號は勿論一五四〇號は勿論一五三五號は勿論一五三〇號は勿論一五二五號は勿論一五二〇號は勿論一五一五號は勿論一五一〇號は勿論一五〇五號は勿論一五〇〇號は勿論一四九五號は勿論一四九〇號は勿論一四八五號は勿論一四八〇號は勿論一四七五號は勿論一四七〇號は勿論一四六五號は勿論一四六〇號は勿論一四五五號は勿論一四五〇號は勿論一四四五號は勿論一四四〇號は勿論一四三五號は勿論一四三〇號は勿論一四二五號は勿論一四二〇號は勿論一四一五號は勿論一四一〇號は勿論一四〇五號は勿論一四〇〇號は勿論一三九五號は勿論一三九〇號は勿論一三八五號は勿論一三八〇號は勿論一三七五號は勿論一三七〇號は勿論一三六五號は勿論一三六〇號は勿論一三五五號は勿論一三五〇號は勿論一三四五號は勿論一三四〇號は勿論一三三五號は勿論一三三〇號は勿論一三二五號は勿論一三二〇號は勿論一三一五號は勿論一三一〇號は勿論一三〇五號は勿論一三〇〇號は勿論一二九五號は勿論一二九〇號は勿論一二八五號は勿論一二八〇號は勿論一二七五號は勿論一二七〇號は勿論一二六五號は勿論一二六〇號は勿論一二五五號は勿論一二五〇號は勿論一二四五號は勿論一二四〇號は勿論一二三五號は勿論一二三〇號は勿論一二二五號は勿論一二二〇號は勿論一二一五號は勿論一二一〇號は勿論一二〇五號は勿論一二〇〇號は勿論一一九五號は勿論一一九〇號は勿論一一八五號は勿論一一八〇號は勿論一一七五號は勿論一一七〇號は勿論一一六五號は勿論一一六〇號は勿論一一五五號は勿論一一五〇號は勿論一一四五號は勿論一一四〇號は勿論一一三五號は勿論一一三〇號は勿論一一二五號は勿論一一二〇號は勿論一一一五號は勿論一一一〇號は勿論一一〇五號は勿論一一〇〇號は勿論一〇九五號は勿論一〇九〇號は勿論一〇八五號は勿論一〇八〇號は勿論一〇七五號は勿論一〇七〇號は勿論一〇六五號は勿論一〇六〇號は勿論一〇五五號は勿論一〇五〇號は勿論一〇四五號は勿論一〇四〇號は勿論一〇三五號は勿論一〇三〇號は勿論一〇二五號は勿論一〇二〇號は勿論一〇一五號は勿論一〇一〇號は勿論一〇〇五號は勿論一〇〇〇號は勿論九九五號は勿論九九〇號は勿論九八五號は勿論九八〇號は勿論九七五號は勿論九七〇號は勿論九六五號は勿論九六〇號は勿論九五五號は勿論九五〇號は勿論九四五號は勿論九四〇號は勿論九三五號は勿論九三〇號は勿論九二五號は勿論九二〇號は勿論九一五號は勿論九一〇號は勿論九〇五號は勿論九〇〇號は勿論八九五號は勿論八九〇號は勿論八八五號は勿論八八〇號は勿論八七五號は勿論八七〇號は勿論八六五號は勿論八六〇號は勿論八五五號は勿論八五〇號は勿論八四五號は勿論八四〇號は勿論八三五號は勿論八三〇號は勿論八二五號は勿論八二〇號は勿論八一五號は勿論八一〇號は勿論八〇五號は勿論八〇〇號は勿論七九五號は勿論七九〇號は勿論七八五號は勿論七八〇號は勿論七七五號は勿論七七〇號は勿論七六五號は勿論七六〇號は勿論七五五號は勿論七五〇號は勿論七四五號は勿論七四〇號は勿論七三五號は勿論七三〇號は勿論七二五號は勿論七二〇號は勿論七一五號は勿論七一〇號は勿論七〇五號は勿論七〇〇號は勿論六九五號は勿論六九〇號は勿論六八五號は勿論六八〇號は勿論六七五號は勿論六七〇號は勿論六六五號は勿論六六〇號は勿論六五五號は勿論六五〇號は勿論六四五號は勿論六四〇號は勿論六三五號は勿論六三〇號は勿論六二五號は勿論六二〇號は勿論六一五號は勿論六一〇號は勿論六〇五號は勿論六〇〇號は勿論五九五號は勿論五九〇號は勿論五八五號は勿論五八〇號は勿論五七五號は勿論五七〇號は勿論五六五號は勿論五六〇號は勿論五五五號は勿論五五〇號は勿論五四五號は勿論五四〇號は勿論五三五號は勿論五三〇號は勿論五二五號は勿論五二〇號は勿論五一五號は勿論五一〇號は勿論五〇五號は勿論五〇〇號は勿論四九五號は勿論四九〇號は勿論四八五號は勿論四八〇號は勿論四七五號は勿論四七〇號は勿論四六五號は勿論四六〇號は勿論四五五號は勿論四五〇號は勿論四四五號は勿論四四〇號は勿論四三五號は勿論四三〇號は勿論四二五號は勿論四二〇號は勿論四一五號は勿論四一〇號は勿論四〇五號は勿論四〇〇號は勿論三九五號は勿論三九〇號は勿論三八五號は勿論三八〇號は勿論三七五號は勿論三七〇號は勿論三六五號は勿論三六〇號は勿論三五五號は勿論三五〇號は勿論三四五號は勿論三四〇號は勿論三三五號は勿論三三〇號は勿論三二五號は勿論三二〇號は勿論三一五號は勿論三一〇號は勿論三〇五號は勿論三〇〇號は勿論二九五號は勿論二九〇號は勿論二八五號は勿論二八〇號は勿論二七五號は勿論二七〇號は勿論二六五號は勿論二六〇號は勿論二五五號は勿論二五〇號は勿論二四五號は勿論二四〇號は勿論二三五號は勿論二三〇號は勿論二二五號は勿論二二〇號は勿論二一五號は勿論二一〇號は勿論二〇五號は勿論二〇〇號は勿論一九五號は勿論一九〇號は勿論一八五號は勿論一八〇號は勿論一七五號は勿論一七〇號は勿論一六五號は勿論一六〇號は勿論一五五號は勿論一五〇號は勿論一四五號は勿論一四〇號は勿論一三五號は勿論一三〇號は勿論一二五號は勿論一二〇號は勿論一一五號は勿論一一〇號は勿論一〇五號は勿論一〇〇號は勿論九五號は勿論九〇號は勿論八五號は勿論八〇號は勿論七五號は勿論七〇號は勿論六五號は勿論六〇號は勿論五五號は勿論五〇號は勿論四五號は勿論四〇號は勿論三五號は勿論三〇號は勿論二五號は勿論二〇號は勿論一五號は勿論一〇號は勿論五號は勿論

上田宏堂

東洋派と米國派の對立愈よ激化す
通商、國防問題を中心に
日比同盟論

比島獨立の將來 ⑤

わが對支國策の積極的實現を期す
きのふ省、部首腦懇談會で
陸軍の方針が決定

一、北支現狀の如何に關して軍は多大の關心を拂はざるを得ぬ即ち其の政權が北支治安維持、民衆の利益の爲に善政を行ふことは滿洲國に直接關係に好影響を與へるものであるを以て我方としても內政に干與せざる範圍に於て能ふ限り支援を與へ其の固有なる發達を圖る

一、日支兩國當面の諸懸案に對しては國際情勢より見るも眞摯中立的態度の見地よりするも急速圓滿な解決を希望す、之が爲には我が大陸の國策と信念とを披瀝し且具體的に進むべき難易なる點あるも互に誠意を以て之が調整に努力し昨年の當初の協定の精神に則り速かに實行に移すこと

一、臨時議會召集のことも考へたが豫算關係の法案のみ衆議院決定に關し貴族院の修正を經ざるを得ざるにより召集せざることとなつた

四月廿日前後に特別議會を召集
樞府委員會で政府が言明
災害善後費の緊急處分案を承認

【東京五日發】昭和十一年度災害善後費の緊急處分案は五日午後一時半より樞府第一委員會に附議する樞府第一委員會は五日午後一時半より樞府議長官舍に開會同日直ちに本會議に移し原案通り可決した

【東京五日發】臨時議會召集の件は五日午後二時より大臣室に關係閣僚會議を開き協議した結果四月廿日前後に召集することに決定した

岡田財務局長が北海道拓銀頭取に
十五日株主總會で正式決定

【東京五日發】北海道拓殖銀行頭取矢作榮藏氏は來る十六日任期滿了するのでこれを機會に退任の意向を有してゐたが、五日午後大藏省に津島次官を訪問し正式辭任の申出をなした、大藏省でも同氏の後任を物色中であるが目下大藏省計劃課長江口課長一氏が最も有力視されてゐる

財務局長後任
江口課長(大藏會計)か

【東京五日發】北海道拓殖銀行頭取矢作榮藏氏の後任は岡田財務局長に決定十五日の株主總會に附議決定の筈

各派別の立候補
五月午後五時現在

【東京五日發】立候補申告書は五日午後五時現在左の如し

	政友會	民政黨	社會大衆黨	無所屬	合計
三四九	二七	五	二	一八四	
二七七	二八	五	二	二一二	

我軍更に自衛上
或種行動に出でん
酷寒にめげず猛演習

中川商船支店長
東京へ榮轉
各方面より惜まる
後任は香港の中村氏

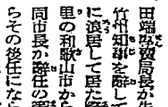
平塚長官五日退京
後四時殿會

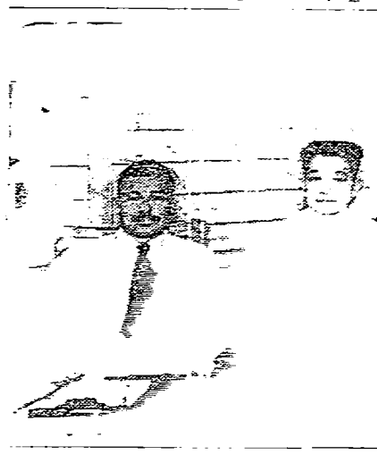
軍事的行動の擴大をも辭せず
石油禁輸斷行に對し
ファシスト大評議會

岡田財務局長が北海道拓銀頭取に
十五日株主總會で正式決定

軍事的行動の擴大をも辭せず
石油禁輸斷行に對し
ファシスト大評議會

平塚長官五日退京





東京大光作
六日より
雛人形陳列會
三階に於て

雛人形

	親王	官女	五人囃子	三人仕丁	孔雀	木目込人形	童子	踊人形
	一八〇より	一五〇より	一〇〇より	八〇より	六〇より	五〇より	三〇より	二〇より

雛道具

御重箱 高蒔繪 化粧箱 婚禮調度 屏風 掛軸

雛人形十五人揃(御道具付)
松印……五〇圓
竹印……三〇圓
梅印……二〇圓

初節句のお祝には
菊元案の商品券

桃の節句のお祝に特に新案いたしました
桃の花と橘を配し美しき御雛壇出度い
「厨斗飾り」商品券を御利用下さい

菊元
電話(表代)四五〇

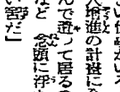
ノアピ葉山

新發賣
平臺三〇號
金壹千五百圓
正價

賢型 金五百圓以上 各種
月賦 金十九圓ヨリ
日本樂器會社
逗子出張所
葉山御用邸前

內科 小兒科
呼吸器病科
淺井醫院
入院隨意
電話逗子四〇番

アイスキャンデー機
燃料不用 電力式冷凍
合同カルピス
東京市麻布區笄町二一番地



日本大阪商船

産業行政の「合理化問題」
産業省を設置
現在の不統一を是正し一元に統轄するが緊要

我國産業行政の組織機構の合理化に関する問題は、今や有力なる輿論となつて来た、既に我國産業行政は極めて不統一であり、例へば商務局の如きは外務、商工、大蔵、農林、拓務の各省に跨がり事務を分立し、また逓信局は通信行政に主つては逓信局長以下五省に於て所轄してゐる如き実情である、一方に於ては利益あらうが他方に於ては多々の不利不便を生ずることが少なくなく、殊に関係行政官廳間に意見の不一致を来す事も少くない、かくては彼らに郵便を託し国民をして歎く所を忽ちしめ、国運興隆の途を来す疑なしともせない実状である、との情勢に鑑み内閣審議会に於ても近く

産業行政 合理化に関して関係官廳に意見を求めて調査に乗り出すと傳へられてゐる二方日本商工會議所では既に各地商工會議所各地産業團體及び資料方面の意見を徴して調査を進めて来たが、愈々本月の常任委員會にかけて關係官廳に意見を陳情することになつた、商民間側の代表的意見ともいふべき日商調査に依る産業行政合理化に関する各方面の意見指要を示すと次の如くである

産業行政の組織改革は機構に関し合理化を必要とする事項
(一)商工、農林行政機構の合理化を指望するもの
一、産業省を新設せんと希望するもの
(一)農林省、商工省を合併し一産業省として同時に拓務省所管の植民地産業行政並に大蔵省所管の關税行政に関する事項を合併せしめること(二)商務局)
(二)産業行政の合理化に関しては産業省の如き一省を設置して商工農林両省を初め貿易局、特許局、外務省内の通商局及貿易局等産業行政に関する政務一切を統轄しこれを通常の局課に配置すること(商務局、商工會議所)
(三)農林、商工両省を合併し産業省として、これに貿易局、特許局、外務省の通商局を包括せしめ通商貿易官及通商務官、工務官新設あるいは産業行政の合理化を要望するもの
(四)農林、商工両省を合併し一産業省としその分課を次の如く分割する、即ち農業省には合同局(農務局)及び農業、工業、鉱業、水産、林業、國立の各局を置きその下に各々生産、加工、販賣の各部を置く(植民貿易協會)
(五)農林、商工両省を合併し一産業省の如き一省としたし産業に関する行政の進歩統一を図ること(各農商局及大阪他十三商工會議所)
二、商工、農林両省を併合し一省となすこと
(一)商工、農林両省を併合して一省となし従来の如き産業行政不統一の弊をなからしめること従つて府縣に於ける分課の改廃等は適宜に措置すべきこと(岐阜商工)
(二)農林、商工両省の併合意見に反對なりとするものは産業組合中央會及び商工會議所の二つである

産業分掌 は一方に於ては産業行政の合理化に関する意見に於ても近く

對滿輸出茶の
關税低減を要望
茶業組合中央會議所起つ

【東京特電二廿四日發】滿洲國に於ける緑茶の消費量は年額一千萬斤以上に上つて居るが、殆ど全部支那茶であり、本邦茶は僅かに年額五百萬斤内外に過ぎない、尤も此の現狀は滿洲國への本邦茶の輸出に對して關税が從價三割、附加税五分を本邦茶に對しては特に低減することを滿洲國政府に對し希望して居り、而して去る三十一日より三日間茶業組合中央會議所に於て開催の第六十一回茶業組合中央會議に於ても此の要望を協議問題として取上げ、滿洲國政府並に關係筋に對し陳情することを決議したが、其の經過は目下茶業界の注目の的となつて居る

華南銀行總會
來月四日開催
【福州特電】華南銀行に於ては來る三月五日午後二時より福北市茶町の同行樓上に於て第二十四回定時株主總會を開催、左記諸項を決議することになつた
一、昭和十年下期財産目録、貸借對照表、營業報告書及損益計算書承認の件
二、昭和十年下期利益金處分の件
三、現役係給並に報酬に關する決議變更の件 以上

萬國博協會設
立具體化
一九三七年巴里萬國博に對し政府は愈々正式參加に決定參加補助金は追加豫算として來る特別議會に提出する事となつたが日本商工會議所を始め國際文化振興會日本産業協會等の民間團體でも之に對照して巴里萬國博覽會協會を組織する事となり準備中で右協會委員は商工省と打合せの上

昆布やわかめから
假漆製造に成功
航空機翼用には誂向
漆工業界の發

◇……缺點
◇ 假漆
◇ 商況（五）
◇ 堂島米況後場
◇ 堂島雜觀
◇ 堂島兩建控除懸合
◇ 大阪短期後場
◇ 東京長期前場
◇ 大阪長期後場
◇ 大阪棉絲
◇ 大阪棉花
◇ 大阪人絹
◇ 大阪清算
◇ 横濱生絲
◇ 神戸豆粕
◇ 大連特産前場
◇ 臺銀建値
◇ 大連銀票前場

滿洲國開發と
液體燃料の問題
臺灣島民は使命に生きよ
臺糖社長 槇 哲氏談

發明日本の意氣
激增の特許出願
昭和十年中の調べ

前東京吉原遊廓
吉原病院長 佐藤榮先生
フラオンギン
ケンゴール
全快保證す
普及品 一・九〇

越年後の臺灣貿易
内地貿易は二千三百萬圓の出超
對外は二百萬圓の入超

失望無用！
十數年の慢性も續々根治する
發明療法
素人が絶對安全に使へる
醫師の專門淋病藥
世界的
淋病
東京西洋派科病院院長 醫學博士 西 謙一郎

街に散る花

(50)

竹田敏彦作

寺本忠雄画

いばらの道 (三)

「ちょっと、そこを、呼んでおいてくれないか」

ふらふらして、戸口から、逃げつぼいまで来た。

「この様でございますか」

雪香里は再び鏡を振いて、塀の外へ投げた。探床へ腰掛けに座を移して、こちらを見てる雪吉の顔が、うつむいた額が、うつとりと射し込んだスタンドの明りに、仁王のやうに照し出された。その例にすこし眠れて、英男と美智子の無邪気な寝顔が、すやすやと安らかな寝息を交へて、いちらしく並んでゐる。

「飛鳥やないかね」

雪吉は懐しさの湧れるやうな眼で、雪香里を見上げた。

「いいえ……」

「眠れないから、ちょっとくうして、お前の仕事をしてゐる所を見させておいて貰はう」

「どうぞ……」

雪香里は、雪吉の膝の上の両手の甲を軽く叩いて、優しく微笑んでみせた。

「お茶でも飲くして登上げませうか」

「いや、折角だが眠れないと困るから……それより、お世さまはお泊りだね」

「ええ、お遅夜でもして頂るのでせう」

久代は伝染ぎから、日本橋へ嫁いでゐる姉の病気見舞に行つてゐるが、その方へ悔やみに行つてからは、近頃まで下向きになつてゐるだ。大変永く打解けてゐた仲だつたがかうしてお通夜まで泊めてゐるのを見ると、雪吉は雪吉の最愛ひなどで、自に折れてきた母の気持を思はずにゐられなかつた。

「おや、仕事をしておくれ」

「いいえ、もう一年と四ヶ月だな……」

雪香里は子供をあやなすやうに言つて、机に向つた。顧客り返つた跡の通りを、自動車が一台、滅入つた静寂を流して過ぎると、後は雪香里のペンの音だけが、狭つたやうな部屋の隅叔に、細かに響くのみだつた。

「民について、もう一年と四ヶ月だな……」

雪香里も、われとわが言葉に驚かされて、ペンを投げた。

「寒まない、寒個に済まないね……俺は病気になつて初めてお前の心がわかつたよ。あんなに疑り放かい」

「また保険のお金を多少貰つてゐましよ。あなたの個葬生命くらゐ私どんなことをしても稼ぎますから」

雪香里も、われとわが言葉に驚かされて、ペンを投げた。

「寒まない、寒個に済まないね……俺は病気になつて初めてお前の心がわかつたよ。あんなに疑り放かい」

「私こそ、何んなに、あなたに感謝して……ね、私はあなたの、妻ぢやありませんか……」

雪吉の痩せ枯れた片腕を抱きしめた。

トン〳〵〳〵——

その時、慌しく表戸を叩く音がした。

「もう直ぐに済みますからね」

雪香里は甘へるやうに駄みたが、雪吉の着ぶれた姿に光、涙を見ると、涙ををくなり、情緒的に駆け寄つて

「私こそ、何んなに、あなたに感謝して……ね、私はあなたの、妻ぢやありませんか……」

雪吉の痩せ枯れた片腕を抱きしめた。

トン〳〵〳〵——

その時、慌しく表戸を叩く音がした。

「ちょっと御殿なんていや……」

雪香里は甘へるやうに駄みたが

基隆庶民信組の役員を市當局は近く辭任

一般大衆の要望に從ひ

【基隆特電】基隆庶民信用組合の先般解散された總會席上紊民によりて組合長の市尹後任不信が問題されたる儘であるがなほ其の後一部役員間に組合内部の動向に對する相互の不滿が漲らされつつある同組合役員の辭職について市民は相當の注目を拂つてゐるが、同組合前理事者にあつて解散されるその經緯には昨年中僅か三回しか役員會が開かれてゐないではないかと不平を洩らしいては現在の組合解散は組合長に市尹を推し勤務專任の要望に從ひ一般大衆の要望に從ひ

軍人さんに限り料金半額でサービス

臺北市北理髮營業組合員が許可あり次第に實施

【臺北特電】臺北市北理髮營業組合では兼ねて同組合員の徴兵者外約五十名の營業主對が打つて一丸となり國軍人さんに對して何とか奉仕的サービスをしたい熱心から此の程來總會や役員會を開いて其の方法を審々協議の結果下士官以下の軍人のお客さんに對しては普通料金の半額で特別サービスすることに一決し目下所轄北署に其の許可申請中で今明日許可されるので右につき同署の大國署長生任は談

怪外人の取調べ

容易に物的證據を得ず

【花蓮港電話】怪外人ウイリアム・ハロルド・イーグルの行動については三日以來花蓮港警務課警部等は其の筋要望を容れ本人は當局の嚴重な監視に不安を抱いてかねて東部に於ける商人の計畫を斷念し六日花蓮港發臺北經由內地へ向ふとの意思を表明した爲め池上警部同道する事となつた

宜蘭郷軍分會の銃器購入報告祭

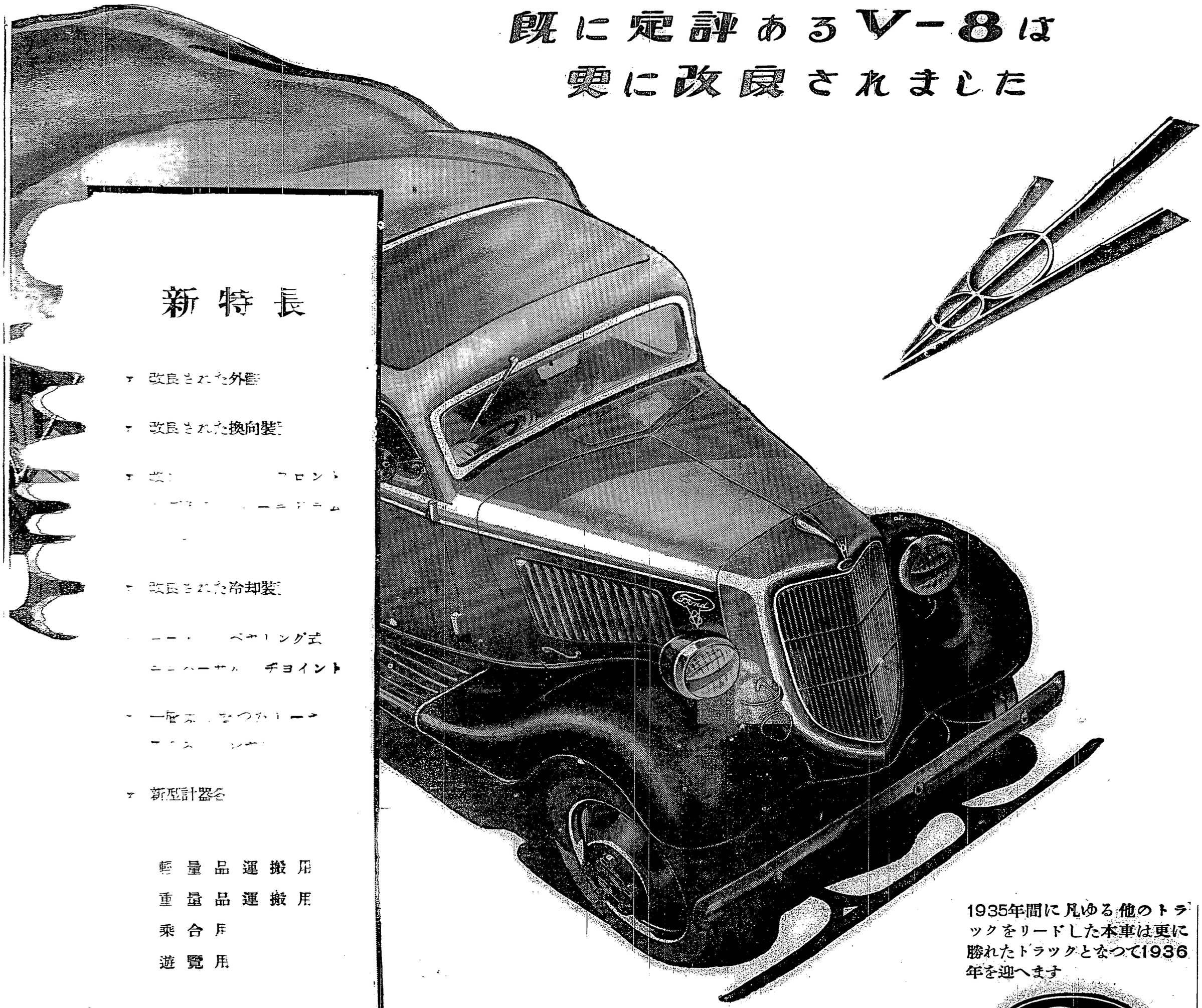
十一日に小學校講堂で

【宜蘭特電】宜蘭在鄉軍人分會では鄉軍人會館の建設資金として銃器購入報告祭を行ひ御禮を兼ねて會員一同に對し慰勞の意を表する事になつた、因て當日は午前十時より小學校講堂に於て

発表

1936年型フオードV8トラック

既に定評あるV-8は
更に改良されました



新特長

- 改良された外觀
- 改良された換向裝置
- 改良されたフロント
- 改良された冷却裝置
- ベヤリング式
- チヨイント
- 新型計器盤

輕量品運搬用
重量品運搬用
乘合用
遊覽用

1935年間に凡ゆる他のトラックをリードした本車は更に勝れたトラックとなつて1936年を迎へます

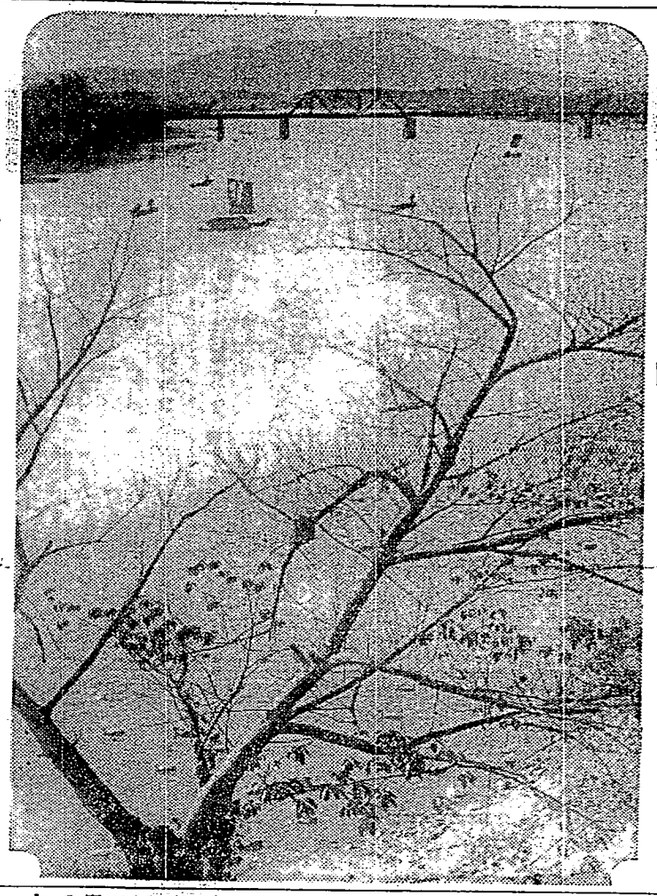
Ford

販賣　日本フオード自動車株式會社　子安

國際冬期オリムピック大會
愈よけふから開始
必勝に燃ゆる我が選手

【ガルミッシュ・パルテンキルヘン五日發同盟】第六回國際冬季オリムピック大會は愈々六日午前十一時から當地で開催されることとなつたが之つぐ大人氣には我が代表選手を歡迎として登場の晴れの舞臺に臨めオリムピック精神を高らかに謳ふる歡迎式があり愈々午後二時半からのホッケー競技によつて十一日間に亘る熱戰の火蓋は切られるのである大會當局は二月六日夜、我がホッケーチームは強敵スエーデンと對戰し第二日（七日）のスキー競技のトツプを切つて登場には我が日、三選手が出場する、斯くて世界の人類を網羅する若き時代の意氣を發揮、併せて國際間にスポーツの明朗性を繼續げる大競技會に開始されるのである、我が選手團は萬全を期し必勝の意氣に燃えてゐる

若葉萌え出づる頃
（きのふ明治橋橋畔にて）



遭難の雲南丸
つひに沈沒か
現場附近には船影を認めず
何等の手懸りなし

【大阪五日發】商船會社入港は五日午前十一時五十分入港船舶米丸船舶無線に依れば現場に到着せる船舶は發見せず漂流物も發見せず捜索地點より十キロメートルの區域を捜索せるも何等の手がかりなく捜査續行中とある

【大阪五日發本社特電】商船本社では村田副社長不在のため本社副社長以下重役は善後策を講ずべく緊張裡に協議中であるが本社副社長は語る

萬一の際には充分に遺族を慰藉

太田大阪商船副社長談

社長は語る

萬に遺憾なことであるが本社には災害丸からSOSが入つただけで其後發信なく全く不明である

萬一の際には
充分に遺族を慰藉
太田大阪商船副社長談

【大阪五日發本社特電】商船本社では村田副社長不在のため本社副社長以下重役は善後策を講ずべく緊張裡に協議中であるが本社副社

積雪一丈八尺に及び
二十六戸が倒壞
岐阜縣春日村の雪害

【岐阜五日發】五日午後岐阜縣保安課に達した情報に依れば岐阜縣揖斐郡春日村は積雪一丈八尺に及び倒壞家屋二十六戸、全滅に瀕し安否憂慮されてゐる

葡領澳門に伸びる
英米資本の魔手
南支の咽喉を扼す

太平洋上で
米船二隻が難航
荒狂ふ吹雪にSO

三角波
恐ろしい
炭水補給のため
三那の兵隊が一箇小隊
突然基隆に寄港

雲南丸は中古船
長保丸も消息を斷つ

天山丸が關門で
『白雲』と衝突
雙方とも損傷は輕微

熱帶の公園
お化粧のやり直し
臺博でひどく荒された新公園の
復舊工事に著手

偽造紙幣
巨利を博す

大和丸が出港
長官は乘り遲る
門司から乘船せん

愛兒四人を道連れに
母子心中を企つ
家庭の不和と商賣の不振から
昨朝京都市内の悲劇

芭蕉包裝用の
新材が發見さる
竹材よりも安價に出來
將來おほいに有望

運命鑑定會
聖豪子
（鑑定）

東京火災
火災　海運傷害信　上送害用
自動車　盜難　保險

大雪禍東京市

交通機關故障中絕

往來行人其他大亂

東京五日電。四十九年來之大雪。所雨之東京市內夜來雪歇。天氣全然回復。全市內電車軌道。全爲積雪埋沒。交通杜絕。市當局拂曉來用一萬餘名人夫開始除雪作業。軌道雖漸作業不易。至突進行間。市電猶不動。幾見乘合車騷々而動。混亂不堪名狀。省線亦始衰。各電車大遲延。乘客收容不盡。是又大混亂。銀行會社等。出勤者不齊出。株式取引所立會開始。延至午前十一時半。又來數取引所。至午前九時。二十分。始見立會云。

權宿劇場

觀客熾炭

市電運轉休止

東京五日電。四日午後。帝都大雪。午後六時。積至二十八糎。爲四十九年一記錄。同九時頃。北國微夜嶺吹。市電同四時頃各處脫線續出。同六時全線運轉不能。郊外電車不通。叫客車。及市乘合車。青乘合車。相與運轉同九時半。所餘唯一省線豫定五日夕方。動力送電云

磯谷少將爲中心

陸軍首腦部會議

對華態度方針

東京五日電。接中央部招電。帶重大使命上京。如駐華大使館附武官磯谷旅介少將。爲中心之陸軍首腦部會議。五日午前十時半。開於陸相官邸。川島陸相。古莊次官。今井軍務局長。以下陸軍首腦部出席。總谷少將。就最近中華一般情勢。南京政府及將介石氏。最近對日態度方針等。見解如左。

一、今也南京政府。蔣行政院長。所行三重政策勢已不得持續。帝國對華政策。依然不變。所行可能性。若干減厚。

一、日華問題解決。華方如有誠意。帝國要求既通達南京政府。今不須開南京會議。

一、問題解決之對手。不妨爲蔣氏。唯其不與爲部並黨衣社等絕緣。日華問題。根本解決不能。所爲留意。

一、我對華二原則。或料兩方。唱慶不平等條約帝國不須留意。

一、華北新政權確立發達。帝國當竭力援助。

次要程度協議。午後一時散。

東株立會

爲雪延刻

東京五日電。五十年來。大雪紛々。帝都今朝盛天。交通機關。甚爲故障。東京株式取引所。發表十前九時立會開始。延一時間自十一時。五日場立會不開後場云。

鳥取縣雪害

被害不少

鳥取五日電。四日午後。山陰地方大風雪襲來。電杜吹倒。通信杜絕。鳥取市。水道破壞。鐵道故障。列車一時運轉休止。一夜不安。五日因知該縣下被害。倒潰家屋百。工場三。學校三。電柱二百。汽船漂難二。死者一。踪跡不明二。十又鳥取電燈。

京都大雪

積一尺餘

京都五日電。京都地方。昨夜來大吹雪。五日朝積雪一尺五分位。京都測候所。開所以來。爲第三次之大雪。

太刀洗機

踪跡不明

大阪五日電。四日午後三時。發明野原。大阪木津川飛行場。如長距離野外飛行之太刀洗飛行第四聯隊七十二五號機。是夜踪跡不明。各地設法盡力。

世界無敵聯合艦隊

今夏巡航臺灣

寄港于馬公基隆高雄

世界無敵聯合艦隊。由高雄臺灣。與演習有第一全然不同。然際此非常時局。橋司令長官統率之下。自七月上旬。至八月下旬之間。巡航臺灣方面。敎練。馬公。基隆。高雄三港。願演軍特別大演習。訓練。

基隆土木費

百五十萬

減至三分之一

基隆市來年度豫算臨時部中土木營繕費。即義重橋及新興橋改修。學校增修築等。共計百五十萬圓。然查定結果。因市債等關係。大部分被其削減。料僅得通過其三分之一。而桑原市長。去二日到北。向州當局。陳述意見。云。

水豆助成金

支出百萬圓

特產界好影響

天連四日電。傳水豆對策決定支出助成金百萬圓。然不見內容。其體發表。一般亦不知其報道。四日午後行情。殆無影響。油房業者。有消極的利益云。

客貨騾增

鐵道大好況

未曾有大收入

昭和十年度初至一月十箇月間累計。局線收入客貨合計。千九百一十三萬八千圓。比昨年同期間。激增二百四十一萬五千圓。此乃島內產業膨脹。及博覽會一般景氣。貨客雙方事業增進。客車七百六十九萬圓。激增百六十九萬圓。貨車千百四十四萬圓。激增九十二萬圓。乘車人員各等合計千六百十二萬人。多於昨年百八十三萬圓。貨物輸送噸量合計四百七十二萬噸。增加四十二萬噸。砂礫石炭大增。二期米移出皆不活潑。減少十五萬四千噸。其他貨物亦多。至年度末。定突破昨年記錄也。又一月中局鐵業績。移出米減少。舊正月人夫休息。石炭及米配送無多。然肥料入貨激增。雜貨出入旺盛。比昨年同月。增加八千八百三噸。依然好調。客車亦因農村好況。舊年末年始。農民旅行增加。各等多收入云。

高山國欲來買珊瑚

不再向意國買入

高山國禮巴爾。介在印度與西藏之希馬拉耶山中。該國首府加多曼圖市之駝馬商會。派向臺灣註文珊瑚。略謂我社從來自意國採入珊瑚。該品乃自日本輸出。偶檢稽利年鑑。發見珊瑚本場之基隆。有南珊瑚店。本商會乃欲排除意國之仲介。而直接與貴國交易。我地方緊川浪紅色之珊瑚。若貴處併營珊瑚業。請速寄見本來云々與珊瑚店。販賣原料及加工品。皆得應之。回信告以不論珊瑚。凡臺灣所產物貨。如有希望。當調查寄呈。總之。基隆珊瑚。外國所需。皆經神戶而入意國。其他地方。殆無買賣。本件有多大興味也。

研海支廳

籌蓄人火葬場

研海西岩再社。者。爲該事宜。深城部長。於去四日。到花蓮港。調查花蓮港火葬場狀況。爲全島蕃社中最初試設者云。

臺南製麻

販賣麻袋

自早米進出

向來麻袋共販。對州組合。殆無買賣。本件有多大興味也。

振興總會

彰化市大埔部落振興會總會。於四日午後一時。開于集會所。長日出席會員五十餘名。市有西川教育課長。東條書記等臨

社會教育事業書記

全島將配置百名

官制由文教局立案

社會教育事業。最近常進展。全島各市郡改善等社會教事業。指導奬勵。殊難期萬全也。

全島聯吟

竹州籌開續翠

花蓮港有力官民

到臺東訪問交歡

東部開發七有望

廣東緝私局員出銃

威脅邦人強奪商品

協議講正當防衛手段

廣東近訊。該地救國會。運動排日。有潛航的活動數月來。邦人日貨。被中國押收者。多至三十餘件。是等自沙面搬出中國街途中。偽密輸入品。被强制掠奪而去。如斯不法行爲。邦人十分憤慨。經總領事館。嚴重抗議交涉中。又最近自稱緝私局員。到邦人倉庫。提出參統。威脅閭者。强入倉庫取去商品狀類强盜。白晝敢行。當局殊無禁束。故邦人不能默視。協議欲出以正當防衛。又總領事館。亦籌充適當對策中云。

借百萬圓

臺北市債又增

昭和十年度臺北市市債百三十六萬圓中。除得分配低利資金之外。尙須借入約百萬圓。松岡市尹。與三和銀行柚花支店長之間數次交涉。經決定以利息四分六厘。而借入。如是則三都數於市之供與金。約百六十七萬七千圓。十年度以前借入之中央市場建築費。同廐地買收費。公會堂臺維費等。二一

花蓮法院刑務支所

按三月竣工開廳式

池內古山兩氏赴實地準備

臺北地方法院花蓮港支部及臺北刑務所花蓮港支所建設。惟刑務所支所。由民間包辦而法院支部。由民間包辦。當局直營。自客年十一月中旬。使職員三十名。及犯人百餘名。從事建築。池內臺北地方法院長。及古山同檢察官長。去三日僧赴花蓮港。顧該工事。爲二年繼續事業。工事業費一萬二千餘圓。現託各費十萬圓。共二十萬圓題。意見不一致罷論。結局製成一邊。不與共販競賣。然于同一事業。兩者併立。自不免有競爭以後之成行。頗堪注目云

督府商品陳列館

參考室改換模樣

備置南華南洋模型

總督府商品陳列館。以臺灣博覽會爲機。將樓上參考室。改換模樣。以臺東。菲律賓。暹羅。新嘉坡。爪哇方面主要物產。竝列于同一方面活躍之本邦貿易。及外國貿易品。分內臺灣貿易品。供一般觀覽。中央模型。直徑二間餘。八角型。南華南洋。之交通關係。產業分布狀況。帝國領事館所在地等。其他有內地優秀陶磁器漆器。竹細工等。于一般當業者。大有可參考也。

宜蘭

龍燈大會

宜蘭街依例年。於古曆元宵。行種々行事。本年照左記方法日程。須歐關龍燈大會。古

羅東

女公歌會

羅東女子公學校。去五日午後二時。招待兒童父兄及關係者百餘名。開兒童唱歌會。定刻高橋校長彼禮。次合唱國歌。而出演男女二十餘回。男女童演唱數二十餘回。頗博好評云。

籌設青訓

羅東青年訓練所。去四日午後七時在同役場樓上。開青年訓練所設置懇談會。是夜有佐々木州社會教育主事。軍司令部。伊勢少佐臨席。其他有當田郡庶務課長。安村郡視學。在鄉軍人會員。小公學校職員。五結庄長。紙漿會社員等二十餘名出席。定刻陳青長彼禮。次郡內有街助役。報告無過狀況。次三和銀行柚花支店長之間數次交涉。經決定以利息四分六厘。而借入。如是則三都數於市之供與金。約百六十七萬七千圓。十年度以前借入之中央市場建築費。同廐地買收費。公會堂臺維費等。二一

花蓮港有力官民

到臺東訪問交歡

東部開發七有望

員林

舉追悼會

來二月七日。濟愛國婦人會創設者鄧會組奧村刀自之肆月命日。當日員林郡愛國婦人會。於下午一時起。決定在員林寺。執行追悼會。

決定改築

郡下國語派出所廳舍。自數年來漸感狹隘。幾以建物腐朽。有改築之議。日前在保甲會議席上。決定改築。本廳舍竹附屬工事。竝土地買收費。總豫算額。按一萬二千餘圓。現託郡土木係設計中。豫定四月上旬。著手工事。

發生事故

田中。北斗間乘合自動車。月四日午前十時頃。在田中。有貓來兩輛車相擦。致乘客中一名負傷。郡當局聞報。勝司法主任僧迴譯。急到實地檢證。

員林大觀

員林駐在日刊記者中一部。所計畫發刊之員林郡大觀。自著手蒐集材料。竝募資助者以來頗受各界歡迎。又得郡街庄組合等之後援。著々編纂中云。

決定續絃

豐澤郡守。自去年九月失偶以來。賢達半歲。膝下兩幼兒。乏人照料。初欲由島內。娶適當者。然終與志違。乃按來三月下旬。歸內地秋田。託其所知。爲之物色云。

南投

學事陳情

南投街協林慶癡。林綠雨。張

嘉義

中華會館

嘉義中華會館。創設十一週年記念。經過成績良好。月四日午後三時。在同會館。開會員大會。協新役員就職之與禮云。

詐犯就捕

嘉義郡民維庄牛斗山人。鄭傳旺。年四十三。臺北市濱町人張乙。食。年四十九。右兩名共謀在臺北市內。詐欺六百餘圓。逃

乘組員安否

商船本社

同十時五分。即遣救助船浙江丸。載醫師看護婦。急往現場云。

無電再不來

船長以下

生死堪憂

橫濱五日電。大阪商船所有船雲南丸（二一〇二噸）滿載雜穀。自大連直行橫濱之途次。五日午前七時頃。在和歌山縣潮岬附近航行中。遇暴風雪。失航行自由。發電求救。附近航行中山下汽船豫州丸。急航現場。午前八時七分以後。無電連絡斷絕。船長以下三十名。生死堪憂云。

商船發船

急往救助

大阪五日電。五日午前七時頃。和歌山縣潮岬海面二十浬。之地點。有航行中大阪商船所有船雲南丸（二一〇二噸）滿載雜穀。爲風浪遭難。船尾浸水。始發信求救。急報商船本社。航行中。遇暴風雪。失航行自由。發電求救。附近航行中山下汽船豫州丸。急航現場。午前八時七分以後。無電連絡斷絕。船長以下三十名。生死堪憂云。

滿洲國皇帝陛下

御瞻勤皇太后陛下

以外各皇族殿下

警京四日電。滿洲國皇帝陛下。五日參謁皇太后陛下。大勳位菊花大綬章。秩父宮雍仁親王。高松宮宣仁親王兩殿下。大勳位菊花頸飾章。其他各皇族殿下。別贈勳章。四日有旨。又以菱刈。南兩大將以下三百十四名。建國有功。康德一年五月九日。有旨敍勳。滿洲國政府。將情發表云。

氷豆助成金

支出百萬圓

特產界好影響

天連四日電。傳氷豆對策決定支出助。成金百萬圓。然不見內容。具體發表。一般亦不知其報道。四日午後行情。殆無影響。油房業者。有消極的利益云。

筹設青訓

羅東青年訓練所。去四日午後七時在同役場樓上。開青年訓練所設置懇談會。是夜有佐々木州社會教育主事。軍司令部。伊勢少佐臨席。其他有當田郡庶務課長。安村郡視學。在鄉軍人會員。小公學校職員。五結庄長。紙漿會社員等二十餘名出席。定刻陳青長彼禮。次郡內有街助役。報告無過狀況。次三和銀行柚花支店長之間數次交涉。經決定以利息四分六厘。而借入。如是則三都數於市之供與金。約百六十七萬七千圓。十年度以前借入之中央市場建築費。同廐地買收費。公會堂臺維費等。二一

社會教育事業書記

全島將配置百名

官制由文教局立案

社會教育事業。最近常進展。全島各市郡改善等社會教事業。指導奬勵。殊難期萬全也。

全島聯吟

竹州籌開續翠

臺南製麻

販賣麻袋

自早米進出

向來麻袋共販。對州組合。殆無買賣。本件有多大興味也。

振興總會

彰化市大埔部落振興會總會。於四日午後一時。開于集會所。長日出席會員五十餘名。市有西川教育課長。東條書記等臨

彰化

總代磋商

彰化神社。訂八日午前十時。在同社務所。開總代會。附議事項。爲昭和十一年度收支豫算。及其他數件云。

區委總會

龍潭庄區委員。定期總會。定來十二日午前九時。開於庄役場。豫定觀察第一公學校。及他施設。一泊後。翌日經由鼻梁嶺

來彰視察

臺南師範學校。第三期實習生一行二十八名。由同校教師二名引率。訂十三日午後來彰。

龍潭

北港進香

龍潭庄每年舊正多有善男信女往北港進香。今番由曾建昌氏倡募集入員。定舊十六日一番車出發。希望參加者。須向曾氏解明之也。

決定改築

發生事故

員林

舉追悼會

決定續絃

南投

學事陳情

督府商品陳列館

參考室改換模樣

備置南華南洋模型

庄協懇談

庄也庄協議會員及校長庄長。去三日。集于俱樂部。開懇談會。協議豫算及來協議會之事。會畢開宴。至五時許散會。

國防獻金

南投小學一年生。積蓄零用貨。計二圓五十一錢。託郡庶務特。呈爲國防獻金。誠可嘉也。

放送好評

南投郡青年團。舉校兒童。國。語生等。去二日午後五時二十分。及講話。頗博好評。

山地實演

恭陸軍砲兵隊。隊長以下十二名。定五日起四日間。在南投郡各間山地擧演習。

東石鄉會

嘉義市會議員林泡氏。今回以市內在住之東石郡十八組織東石同鄉會。舉林氏爲創立代表者。定九日午後一時。在公會堂開創立總會。有三百餘名。

詩壇

臨溪丁曜琛

清風來後上過。淡水綠痕。生微波。斯須風靜散波。漣。曼然明鏡如新磨。我思此水有本性。纖塵不染清光多。東西下或翼麗。此性終古長不變。有時窗流見四達。我逢山洞加謹訶。曾知品性自如定。朝宗萬川原同科。試向海酌瓶水。持較汲非遠如何。

堪蔡麗村

黃風松蔡君年少者。資甚來東瀛。得資養母弟。孝友出天誠。持身兢律嚴。不敢賦閒情。管咄世與。切矣浪求名。此中有我師。方免爲世輕。自知定。朝宗萬川原同科。試向海酌瓶水。持較汲非遠如何。願君自謙抑。努力期大成。金多非所貴。聊以礪生。

春風送暖淑氣潛滋
飲酒嬉春家々快樂
惟不可有酒無肴夫
菜肴好吃總在烹調
妙手只可用味の素
烹調自能美味也

味の素（豆醬商標）

日光ペン
豪博慶良賞受賞
日光老舗鋼筆頭
全國各店に有り
東洋精鋼會社
東京小石川丸山一六

宮內省御用達　味の素本舗　鈴木商店